



教科書ぴったりトレーニング

〈啓林館版・ブルースカイ3年〉

この解答集は取り外してお使いください。



解答集



Unit 1 ~ Let's Talk 1

pp.6~7

びたトレ 1 (Part 1)

Words & Phrases

(1)生の (2)2回 (3)いくつかの (4)eaten
(5)once (6)plane

1 (1)イ (2)ア (3)ア

2 (1)have read (2)They have climbed
(3)She has made, twice

3 (1)have watched the movie five times
(2)My father has been to Australia
(3)She was surprised to hear

考え方

1 (1)「～したことがあります」なので〈have + 過去分詞〉にする。(2)「～したことがあります」で主語が3人称単数なので、〈has + 過去分詞〉にする。(3)「3回」= three times

2 (1)「私は以前にその本を読んだことがあります。」(2)「彼らはその山に4回登ったことがあります。」(3)「彼女はピザを2回作ったことがあります。」

3 (1)「私は～したことがあります」は〈have + 過去分詞〉で表す。「5回」はfive times。
(2)「私の父は～に行ったことがあります」はhas been to ~で表す。(3)「～して驚きました」は〈be surprised to + 動詞の原形〉で表す。

pp.8~9

びたトレ 1 (Part 2)

Words & Phrases

(1)ラクダ (2)虹 (3)水族館 (4)never
(5)heard (6)ridden

1 (1)ア (2)イ (3)ア

2 (1)Has, ever been (2)I've never played
(3)Have you ever written, letter

3 (1)Have they ever swum in
(2)has never visited the temple
(3)I've heard of the restaurant

考え方

1 (1)「今までに～したことがありますか」は〈Have[Has] + 主語 + ever + 過去分詞~?〉

で表す。(2)「一度も～したことはありません」は〈have[has] never + 過去分詞〉で表す。never1語で強い否定を表すので、notといっしょには使わない。(3)「今までに～したことがありますか」なのでeverを使う。

2 (1)「今までに～したことがありますか」で主語が3人称単数なので、〈Has + 主語 + ever + 過去分詞~?〉の文にする。(2)「私は一度も～したことはありません」はI've never ~で表す。(3)「あなたは今までに～したことがありますか」の文では、Haveを文頭に、everをyouと過去分詞の間に置く。

3 (1)「彼らは今までに～したことがありますか」は〈Have + 主語 + ever + 過去分詞~?〉で表す。(2)「私の妹は一度も～したことはありません」は〈has never + 過去分詞〉で表す。(3)「～のことを聞く」はhear of ~で表す。

pp.10~11

びたトレ 1 (Part 3)

Words & Phrases

(1)～を探す (2)イスラム教徒 (3)バスタブ
(4)yet (5)already (6)done

1 (1)ア (2)イ (3)イ

2 (1)have, cleaned (2)She has, started
(3)He has already had

3 (1)He has just got on the bus(.)
(2)I have not made lunch yet(.)
(3)is going to visit her aunt next Sunday

考え方

1 (1)「すでに」= already (2)「まだ～していません」で主語が3人称単数なので、〈hasn't + 過去分詞~ yet〉にする。(3)「もう～してしまいましたか」は〈Have[Has] + 主語 + 過去分詞~ yet?〉で表す。

2 (1)「彼らはちょうど教室を掃除したところです。」(2)「彼女はちょうど宿題を始めたところです。」(3)「彼はもう朝食を食べてしまいました。」

3 (1)「彼はちょうど～したところです」は〈has

just + 過去分詞)で表す。(2)「私はまだ～していません」は〈have not + 過去分詞～yet)で表す。(3)「～する予定です」はbe going to ～で表す。

pp.12~13

びたトレ 1 (Read & Think)

Words & Phrases

(1)～を許可する (2)入口 (3)大学
(4)increase (5)recently (6)able

1 (1)ア (2)イ (3)ア

2 (1)Is it, to answer (2)I'm, to see
(3)you call

3 (1)It is important to study English(.)
(2)Our teacher was surprised to hear
(3)more and more people visit our country

考え方

1 (1)「…することは～です」は〈It is ~ to + 動詞の原形...〉で表す。(2)「～して…です」は〈be 動詞 + 形容詞 + to + 動詞の原形～〉で表す。この〈to + 動詞の原形～〉は感情の原因を表す不定詞。(3)「もし明日晴れたら」と未来のことを仮定するときでも、if ~の動詞は現在形にする。

2 (1)「…することは～ですか」は〈It is ~ to + 動詞の原形...〉を疑問文にする。(2)「～して…です」は、感情の原因を表す不定詞を使って〈be 動詞 + 形容詞 + to + 動詞の原形～〉とする。(3)if ~で未来のことを仮定するとき、動詞は現在形にする。

3 (1)「…することは～です」は〈It is ~ to + 動詞の原形...〉で表す。(2)「～して…でした」は〈be 動詞の過去形 + 形容詞 + to + 動詞の原形～〉で表す。(3)「ますます多くの～」はmore and more ~で表す。

pp.14~15

びたトレ 1 (Let's Talk 1)

Words & Phrases

(1)あなた自身を (2)すべてのもの[こと]
(3)1切れのケーキ (4)2杯目, おかわり
(5)help (6)delicious (7)smell (8)taste

1 (1)ア (2)イ (3)イ, ウ

2 (1)Would you like (2)please (3)thank you

3 (1)Would you like some more(?)
(2)May I have seconds(?)
(3)Would you like something to drink(?)

考え方

1 (1)おいしそうだと目で見えた印象を話していることがわかるので、looksを選ぶ。Everythingは単数扱い。(2)Would you like some ~?で「～はいかがですか」。相手に何かをすすめるときの定型文なので覚える。

(3)相手に何かをすすめられたときに断る場合の定型文であるNo, thank you.を選ぶ。「おなかがいっぱいです。」はI'm full.。I'm hungry.は「おなかがすいています。」という反対の意味になってしまう。

2 (1)()の直後にはそれぞれsome chicken?とsome more?が続き、そのあとのアオイの返事はYes, Noで答えているのでWould you likeを入れると前後の文と合う。may I haveを入れてしまうと、もてなす側のはずであるエミリーの父がアオイにたずねる質問としては不適切な会話になってしまう。(2)pleaseを入れて「はい、いただきます」という意味にすれば、すすめられたものに対して受け入れる文ができる。(3)No,の後ろに置けるのは、thank youかnot at allが考えられるが、not at allでは「いいえ、まったくそんなことないです」という意味になって文意が通らない。No, thank you.で「いいえ、結構です。」の意味。

全訳

アオイ：お招きいただき、ありがとうございます。
エミリーの父：遠慮なくどうぞ。チキンはいかがですか。

アオイ：はい、いただきます。とてもおいしいです。

エミリーの父：もっといかがですか。

アオイ：いいえ、結構です。おなかがいっぱいです。何か飲み物をいただいてもよろしいでしょうか。

エミリーの父：紅茶とコーヒーがありますよ。何がいいですか。

アオイ：コーヒーをいただきます。ありがとうございます。

3 (1)Would you like ~?「～はいかがですか」にsome moreを続けることで「もっといかがですか」=「おかわりはいかがですか」となる。基本的にsomeは肯定文で用い、疑問文や否定文ではanyを用いるが、何かを提供するときや相手がyesと答えるだろうと思うときなどには疑問文にもsomeを

用いる。(2) secondsで「おかわり」の意味を持つ。必ず複数形で用いることに注意する。(3)飲み物をすすめるていねいな表現。定型文なので必ず覚える。

pp.16~17

びたトレ2

- 1 (1)ウ (2)エ (3)イ (4)エ
- 2 (1)have made, once (2)Have, called, yet (3)hasn't cleaned, yet (4)Would you like
- 3 (1)今までにこの本を読んだことがありますか (2)もう服を着替えてしまいました (3)まだ駅に着いていません (4)その知らせを聞いて興奮しました
- 4 (1)eaten (2)行ったことがあります (3)to see
- 5 (1)Yes, they do. (2)Halal marks do.

考え方

- 1 (1)「ヤマダさんは2回メキシコに行ったことがあります。」(2)「ベンはその山に登ったことが一度もありません。」(3)「列車はちょうど駅を出発したところです。」(4)「大きいイヌの世話をするのはたいへんだと思います。」
- 2 (1)「～したことがあります」は〈have + 過去分詞〉の現在完了形にする。「1回」はonce。(2)主語がyouで「もう～しましたか」なので、〈Have + 主語 + 過去分詞～yet?〉という疑問文にする。(3)主語が3人称単数で「まだ～していません」なので、〈hasn't + 過去分詞～yet〉という否定文にする。(4)「～はいかがですか」と人にすすめているので、Would you like ~?とする。
- 3 (1)Have you ever ~?という現在完了形の疑問文なので経験をたずねている。(2)has already ~なので現在完了形の完了用法の文。(3)haven't ~ yetなので現在完了形の完了用法の否定文。(4)to hear the newsは感情の原因を表す不定詞。
- 4 (1)I'veで始まりonceで終わる現在完了形の経験用法の文なので、過去分詞にする。(2)I've been to ~で「私は～に行ったことがあります」という現在完了形の経験用法の文。(3)「～して驚きました」なので、感情の原因を表す(to + 動詞の原形) (不定詞の副詞的用法)を使った文となる。

全訳

アオイ：あなたはすき焼きは好きかな？
エミリー：ええ。1回それを食べたことがある

よ。家族といっしょにすき焼き店に行ったことがあるよ。どんぶりの中の生卵を見て驚いたわ。

アオイ：どうして？

エミリー：アメリカではふつう生卵は食べないのよ。

アオイ：それを試してみた？

エミリー：ええ。とてもおいしかったよ。

- 5 (1)質問文の意味は「日本のイスラム教徒はハラール・フードを食べますか。」で、So Muslims in Japan don't eat halal food? Yes, they do.「だから、日本のイスラム教徒はハラール・フードを食べないのですか。いいえ、食べます。」とあるので、食べることがわかる。(2)質問文の意味は「イスラム教徒がハラール・フードを見つけるのに役立つのは何ですか。」で、If a food product has a halal mark on it, I know it is a halal food.「食料品にハラール・マークがあれば、それがハラール・フードだとわかります。」とあるので、ハラール・マークだとわかる。

全訳

日本ではハラール・フードを見つけるのは難しいです。だから、日本のイスラム教徒はハラール・フードを食べないのですか。いいえ、食べます。ハラール・マークが役立つのです。食料品にハラール・マークがあれば、それがハラール・フードだとわかります。日本でハラール・マークが付いた食料品が増えてきているのがわかって私はうれしいです。

pp.18~19

びたトレ3

- 1 (1)× (2)× (3)×
- 2 (1)ア (2)ア (3)イ
- 3 (1)have never listened (2)has just washed (3)Has, arrived, yet
- 4 (1)has made fried chicken several times (2)I have already done my homework(.) (3)It is interesting to hear
- 5 (1)slept (2)I've never done that(.) (3)ジャックが弟[兄]を(キャンプに)連れていっていいこと (4)likes climbing mountains (5)He has just come home
- 6 (1)Have you ever been to Australia? (2)I haven't taken a bath yet. (3)Would you like some orange juice?

- ① (1)「～に登る」「rideの過去分詞形」(2)「これまでに」「最近」(3)「hearの過去分詞形」「～を片づける」
- ② (1)最初の音節を強く読む。(2)最初の音節を強く読む。(3)2番目の音節を強く読む。
- ③ (1)「私は一度も～したことはありません」は〈have never + 過去分詞〉で表す。(2)「彼はちょうど～したところです」は〈has just + 過去分詞〉で表す。(3)「バスはもう～しましたか」は〈Has + 主語 + 過去分詞～ yet?〉で表す。
- ④ (1)「～したことがあります」なので現在完了形の文にする。「数回」はseveral times。(2)「もう～してしまいました」なのでhave already done ～という現在完了形の文にする。(3)「…することは～です」なので〈It is ～ to + 動詞の原形...〉の文にする。
- ⑤ (1)Have you ever ～?という現在完了形の経験用法の疑問文なので、過去分詞にする。(2)()にI'veとneverがあるので、現在完了形の経験用法の否定文にする。(3)下線部③のthatは相手が前に言ったことを指し、それを含む文が「そう言ってくれるなんてきみはとても親切だね。」という意味なので、その直前のYou can bring your brother too.というDavidの発言をまとめればよい。(4)「～するのが好きだ」はlike ～ingで表す。(5)()にhasとjustがあるので、現在完了形の完了用法の文にする。

全訳

デビッド：テントで眠ったことはある？
 ジャック：ないよ。一度もそうしたことはないな。
 デビッド：次の週末に兄とキャンプに行く予定なんだ。ぼくたちと行きたいかい？
 ジャック：うん、もちろん。
 デビッド：弟さんを連れてきてもいいよ。
 ジャック：本当かい？ そう言ってくれるなんてきみはとても親切だね。
 デビッド：彼は山に登るのが好きだって聞いているよ。きみたちがぼくたちとキャンプを楽しんでくれるとうれしいな。
 ジャック：そうかい。どうもありがとう。
 デビッド：今彼と話してもいいかな？
 ジャック：いいよ。彼はちょうど学校から帰宅したところだよ。

- ⑥ (1)「行ったことがあるか」と相手に経験をたずねるので、現在完了形の経験用法の疑問

文にする。「～に行ったことがある」はhave been to ～。6語にするので「今までに」を表すeverをyouとbeenの間に置く。
 (2)「まだ～していない」なので現在完了形の完了用法の否定文にする。「まだ」を表すyetは文末に置く。(3)飲食物などを相手にすすめるときは、Would you like ～?「～はいかがですか」という表現を使う。

英作文の採点ポイント

- 単語のつづりが正しい。(2点)
- ()内の語数で書けている。(2点)
- (1)現在完了形の経験用法が正しく使えている。
 (2)現在完了形の完了用法が正しく使えている。
 (3)Would you like ～?が正しく使えている。
 (4点)

Unit 2 ~ Let's Talk 2

pp.20~21

びたトレ 1 (Part 1)

Words & Phrases

- (1)子イヌ (2)段ボール (3)病気の (4)born
(5)brought (6)since

1 (1)イ (2)イ (3)ア

2 (1)has played, for (2)They have stayed,
since (3)I have been, for two hours

3 (1)has studied Japanese for three years
(2)have used this computer since 2018
(3)Naomi was watching TV when

考え方

1 (1)「(ずっと)~しています」なので〈have + 過去分詞〉にする。(2)「(ずっと)~しています」で主語が3人称単数なので、〈has + 過去分詞〉にする。(3)「(ずっと)~しています」なので〈have + 過去分詞〉にする。「~から」はsinceで表す。

2 (1)「彼女は3年間ずっとバスケットボールをしています。」(2)「彼らは先月からずっと日本に滞在しています。」(3)「私は2時間ずっとここにいます。」

3 (1)「サムはずっと~しています」は〈has + 過去分詞〉で表す。「3年間」はfor three years。(2)「私はずっと~しています」は〈have + 過去分詞〉で表す。「2018年から」はsince 2018。(3)「~していました」は過去進行形で表す。「~したとき」はwhen。

pp.22~23

びたトレ 1 (Part 2)

Words & Phrases

- (1)ツバメ (2)巣 (3)~を見守る (4)歯痛
(5)roof (6)house (7)parent (8)poor

1 (1)ア, エ (2)イ, ウ

2 (1)How long has, been (2)How long have
you wanted (3)How long has she had

3 (1)How long have they known each other(?)
(2)How long have you belonged to the
basketball team(?)
(3)They are watching over

考え方

1 (1)「あなたはどのくらいの間~していますか」は〈How long have + 主語 + 過去分詞~?〉で表す。「~の間」はfor。(2)「彼女はどのくらいの間~していますか」は〈How long has + 主語 + 過去分詞~?〉で表す。

「~から」はsince。

2 (1)「どのくらいの間~していますか」で主語が3人称単数なので、〈How long has + 主語 + 過去分詞~?〉の文にする。(2)「どのくらいの間~していますか」で主語が2人称なので、〈How long have + 主語 + 過去分詞~?〉の文にする。(3)「どのくらいの間~していますか」で主語が3人称単数なので、〈How long has + 主語 + 過去分詞~?〉の文にする。

3 (1)「彼らはどのくらいの間~ですか」はHow long have they ~?で表す。knownはknowの過去分詞形。(2)「あなたはどのくらいの間~していますか」はHow long have you ~?で表す。(3)「~を見守る」はwatch over ~で表す。

pp.24~25

びたトレ 1 (Part 3)

Words & Phrases

- (1)~を作りだす (2)線路 (3)~から離れている
(4)dislike (5)hit (6)report

1 (1)イ (2)イ (3)ア

2 (1)has been sleeping (2)I have been
painting (3)It has been raining since
last night

3 (1)I've been waiting for him for
(2)Have you been playing video games
since
(3)This language is not used anymore(.)

考え方

1 (1)「彼らはずっと~しています」は現在完了進行形の〈have been + 動詞のing形〉で表す。(2)「彼女はずっと~しています」は〈has been + 動詞のing形〉で表す。(3)「私はずっと~しています」は〈have been + 動詞のing形〉で表す。「~から」はsince。

2 (1)「私のネコは5時間ずっと眠っています。」
(2)「私は3時間ずっと絵をかいています。」
(3)「昨夜からずっと雨が降っています。」

3 (1)「私はずっと~しています」という動作の継続は、現在完了進行形の〈have been + 動詞のing形〉で表す。(2)「あなたはずっと~していますか」は〈have been + 動詞のing形〉の疑問文で表す。(3)「もはや~されていません」は、anymore「今はもう(~ない)」を使った受け身形の否定文で表す。

Words & Phrases

- (1)よく似た (2)人間 (3)~を分ける (4)行ったり来たりする (5)along (6)forest (7)safely (8)through

- 1 (1)ア (2)ア (3)ア
2 (1)need to open (2)someone to help (3)is called Toshi
3 (1)We have a lot of things to do (2)It is called the city of bridges(.) (3)There is a bicycle under the roof

考え方

- 1 (1)「~する必要がある」は〈need to + 動詞の原形~〉で表す。(2)「飲み物」は〈to + 動詞の原形〉(不定詞の形容詞的用法)を使って表す。(3)「~と呼ばれています」は〈call + A + B〉を使った受け身形で表す。
2 (1)「~する必要がある」は〈need to + 動詞の原形~〉で表す。(2)「私を手伝ってくれる人」は〈to + 動詞の原形〉(不定詞の形容詞的用法)を使って表す。(3)「その少年は~と呼ばれています」はThe boy is called ~と表す。
3 (1)「することがたくさんある」は、〈to + 動詞の原形〉(不定詞の形容詞的用法)を使ってhave a lot of things to doと表す。(2)「~と呼ばれています」は〈call + A + B〉を使った受け身形で表す。(3)「...の下に~があります」はThere is a[an] ~ under ...で表す。

- 1 (1)イ (2)イ (3)イ (4)イ
2 (1)has been to, times (2)Have you taken, yet (3)has already written
3 (1)Have you ever seen a rainbow(?) (2)I haven't cleared my desk yet(.) (3)has been busy since last week (4)has been driving a car for two hours

考え方

- 1 (1)「一度も~したことはありません」は〈have never + 過去分詞〉で表す。(2)「ちょうど~したところです」は〈has just + 過去分詞〉で表す。(3)「彼らは(ずっと)~しています」は〈have + 過去分詞〉にする。「~の間」はfor。(4)「どのくらいの間~ですか」は〈How long have + 主語 + 過去分詞~?〉で

表す。

- 2 (1)「~に行ったことがある」はhas been to ~で表す。「3回」はthree times。(2)「もう~しましたか」なので現在完了形の完了用法の疑問文にする。(3)「もう~してしまいました」なので現在完了形の完了用法の文にする。
3 (1)「~したことがありますか」なので現在完了形の経験用法の疑問文にする。(2)「まだ~していません」なので現在完了形の完了用法の否定文にする。(3)「...からずっと~です」なので現在完了形の継続用法の文にする。(4)「ずっと~しています」は、動作の継続を表しているので現在完了進行形にする。

Words & Phrases

- (1)問題 (2)痛い (3)のど (4)熱 (5)どのくらいの間 (6)Let, look (7) cough (8) stuffy (9) chilly (10) runny

- 1 (1)イ (2)ア (3)ア
2 (1) a sore throat (2) chilly
3 (1)I have a runny nose(.) (2)I have a stuffy nose(.) (3)Do you have a fever(?) (4)Let me take a look(.)

考え方

- 1 (1)「のどが痛い」= have a sore throat (2)「寒気がする」= feel chilly (3)「どのくらいの間」と期間をたずねるときにはHow long~?を使う。
2 (1)イラストからののどが痛いことがわかる。「のどが痛い」はhave a sore throat。(2)イラストから寒気を感じていることがわかる。「寒気がする」はfeel chilly。
3 (1)「鼻水が出る」= have a runny nose (2)「鼻がつまっている」= have a stuffy nose (3)「熱がある」= have a fever (4)「私に見せてください。」= Let me take a look.

- 1 (1)エ (2)ウ (3)ア (4)ウ
2 (1)have wanted (2)has belonged to (3)How long have you used (4)have been growing
3 (1)He has lived in this country since 2010. (2)How long have you been sick? (3)We have been walking for three hours.

(4) I have a sore throat.

- ◆4 (1) How long have they lived (2) For about three weeks (3) watching over
- ◆5 (1) They produce ultrasonic sound when railroads are busy. (2) They keep away from the railroads.

考え方

- ◆1 (1)「この前の月曜日からずっと暑いです。」
(2)「その女の子は5年間柔道のけいこをしています。」 (3)「その男性は先月からずっとこの市にいます。」 (4)「私たちは2時間ずっとここで待ち続けています。」
- ◆2 (1)主語がIで「ずっと～だったのです」なので、〈have + 過去分詞〉の現在完了形にする。
(2)主語がSheで「(ずっと)～しています」なので、〈has + 過去分詞〉にする。(3)主語がyouで「どのくらいの間～していますか」なので、〈How long have + 主語 + 過去分詞～?〉にする。(4)主語がTheyで「ずっと～しています」なので、動作の継続を表す現在完了進行形の〈have been + 動詞のing形〉にする。
- ◆3 (1)「(ずっと)～しています」なので現在完了形の継続用法の文にする。「～から」はsince。(2)「どのくらいの間～ですか」なので、期間をたずねる現在完了形の継続用法の疑問文にする。(3)「ずっと～しています」なので、動作の継続を表す現在完了進行形の文にする。「～の間」はfor。(4)「のどが痛い」はhave a sore throatで表す。
- ◆4 (1)()にhow, long, haveがあるので、期間をたずねる現在完了形の継続用法の疑問文にする。(2)「約3週間」はforを使って表す。(3)「～を見守る」をwatch over ～で表す。現在進行形の文とする。

全訳

アオイ：この写真を見て。私の家の屋根の下にツバメが巣を作ったよ。親鳥と赤ちゃんがそこに住んでいるのよ。

チェン：とてもかわいいね。それらはどのくらいの間住んでいるの？

アオイ：約3週間よ。そのかわいい鳴き声を聞けるのよ。私たちはそれを見守っているの。

- ◆5 (1)質問文の意味は「『シカ踏切』はどのようにシカを守っていますか。」で、They produce ultrasonic sound when railroads are busy.「線路で列車の往来が多いときに、そ

れらは超音波を出します。」とあるので、この内容を答える。(2)質問文の意味は「シカはその超音波を聞いたときに、何をしますか。」で、Deer dislike the sound and keep away from the railroads.「シカはその音をきらっていて、線路から離れます。」とあるので、この内容を答える。

全訳

奈良では、2016年から「シカ踏切」がシカを守っています。線路で列車の往来が多いときに、それらは超音波を出します。シカはその音をきらっていて、線路から離れます。この踏切のおかげで、今はもうシカは列車にひかれません。

pp.34~35

びたトレ3

- ◆1 (1)× (2)× (3)×
- ◆2 (1)ア (2)ア (3)ア
- ◆3 (1)has known, since (2)has been working, since (3)have, nose
- ◆4 (1)It has been cold for a week.
(2)I have liked sports since then.
(3)How long has your father been a doctor?
- ◆5 (1)How long have you been a member
(2)ウ (3)私は昨年からずっと合唱部に所属しています。(4)playing (5)has had, since
- ◆6 (1)I have lived in this house for three years.
(2)How long have you been here?
(3)I have a cough.

- ◆1 (1)「bringの過去形」「ロープ」(2)「生まれた」「かわいそうな」(3)「ツバメ」「親」
- ◆2 (1)最初の音節を強く読む。(2)最初の音節を強く読む。(3)最初の音節を強く読む。
- ◆3 (1)「彼女は(ずっと)～しています」は〈has + 過去分詞〉で表す。「昨年から」は、last yearの前にsinceを置いて表す。(2)空所の数から「彼はずっと～しています」は〈has been + 動詞のing形〉で表す。「～から」はsince。(3)「鼻水が出る」はhave a runny noseで表す。
- ◆4 (1)元の文のisをhas beenに置きかえて現在完了形の継続用法の文にする。書きかえた文の意味は「1週間ずっと寒いです。」となる。(2)元の文のlikeをhave likedに置き

かえて現在完了形の継続用法の文にする。書きかえた文の意味は「そのときから私はずっとスポーツが好きです。」となる。(3)期間をたずねるので〈How long has + 主語 + 過去分詞～?〉の文にする。書きかえた文の意味は「あなたのお父さんはどのくらいの間お医者さんをしていますか。」となる。

- 5 (1) ()にhow, long, haveがあるので、期間をたずねる現在完了形の継続用法の疑問文にする。(2)後ろがabout three years「約3年」という期間を表す語句なので、forが正しい。(3)I've belonged to ~ since...で「私は…からずっと～に所属しています」という現在完了形の継続用法の文。(4)前がShe has beenで後ろが目的語となるthe pianoなので、現在完了進行形だと判断できる。よってing形にする。(5)「…から(ずっと)～しています」なので、sinceを使った現在完了形の継続用法の文にする。

全訳

ドナ：あなたはとても上手な選手ね。

ジュディ：ありがとう。

ドナ：あなたはどのくらいの間バスケットボール部の一員なの？

ジュディ：約3年間よ。あなたは歌がとても得意よね。あなたの声が好きよ。

ドナ：私は去年から合唱部に所属しているのよ。

ジュディ：あなたとあなたのお姉さんは2人も音楽が大好きね。

ドナ：ええ。彼女は約15年間ずっとピアノをひいているよ。

ジュディ：ところで、あなたのお母さんが元気なさそうよ。彼女はだいじょうぶ？

ドナ：あまり元気じゃないよ。彼女は今朝から頭痛がしているの。

- 6 (1)「3年間(ずっと)住んでいる」なので現在完了形の継続用法の文にする。「3年間」はfor three years。(2)「どのくらいの間～なのか」なので、期間をたずねる現在完了形の継続用法の疑問文にする。(3)体調について述べる時、「せきが出る」はhave a coughで表す。

英作文の採点ポイント

- 単語のつづりが正しい。(2点)
- ()内の語数で書けている。(2点)
- (1)現在完了形の継続用法が正しく使えている。
(2)期間をたずねる現在完了形の継続用法の疑問文が正しく使えている。(3)have a coughが正しく使えている。(4点)

Unit 3 ~ Project 1

pp.36~37

びたトレ 1 (Part 1)

Words & Phrases

- (1)原子の (2)爆弾 (3)第二次世界大戦
(4)invent (5)telephone (6)look

1 (1)イ (2)ア (3)イ

2 (1)when he went (2)you know why he is
(3)Do you know how he goes

3 (1)I know who painted this picture(.)
(2)how many chairs there are in
(3)I know that the telephone was invented

考え方

1 (1)「彼女がどこにいるか」がknowの目的語になっているので、間接疑問文の〈疑問詞+主語+動詞〉の語順にする。(2)「昨日彼が何を買ったか」がknowの目的語になっているので、疑問詞の後ろを疑問文の形にせず〈疑問詞+主語+動詞〉とする。(3)「これがいくらか」がknowの目的語になっているので、「いくらか」をhow muchで表して(how much+主語+動詞)の語順にする。

2 (1)「あなたは彼がいつ動物園に行ったか知っていますか。」(2)「あなたはなぜ彼が怒っているのか知っていますか。」(3)「あなたは彼がどうやって通学しているか知っていますか。」

3 (1)「だれがこの絵をかいたか」を間接疑問文として、knowの目的語にする。疑問詞が主語の疑問文は、間接疑問文になっても語順は変わらない。(2)「部屋にイスがいくつあるか」を間接疑問文として、knowの目的語にする。how many chairsの後ろを肯定文と同じ語順にする。(3)「～ということを知っています」はknow that ~で表す。

pp.38~39

びたトレ 1 (Part 2)

Words & Phrases

- (1)記念の (2)モデル (3)後遺症 (4)～を上達させる
(5)stand (6)told (7)How old
(8)pair

1 (1)ア (2)ア (3)イ

2 (1)which bicycle[bike] is (2)how long you have lived
(3)me who wrote this report

3 (1)what you are going to do
(2)tell me where the nearest bus stop is

(3)Have you ever taken part

考え方

1 (1)「この標識が何を意味するか」が〈tell+A(目的語)+B(目的語)〉のBになっているので、間接疑問文の〈疑問詞+主語+動詞〉の語順にする。(2)「いつ彼女に会ったか」が〈tell+A(目的語)+B(目的語)〉のBになっているので、疑問詞の後ろを疑問文の形にせず〈疑問詞+主語+動詞〉とする。(3)「彼女がどこへ行きたいか」が〈tell+A(目的語)+B(目的語)〉のBになっているので、疑問詞の後ろを疑問文の形にせず〈疑問詞+主語+動詞〉とする。

2 (1)「どちらの自転車があなたのものか」を間接疑問文として、〈tell+A(目的語)+B(目的語)〉のBにする。「どちらの自転車」はwhich bicycle[bike]とする。〈疑問詞+語句〉が主語の疑問文は、間接疑問文になっても語順は変わらない。(2)「あなたがどのくらいの間ここに住んでいるか」を間接疑問文として、〈tell+A(目的語)+B(目的語)〉のBにする。how longの後ろを肯定文と同じ語順にする。(3)「だれがこのレポートを書いたか」を間接疑問文として、〈tell+A(目的語)+B(目的語)〉のBにする。疑問詞が主語の疑問文は、間接疑問文になっても語順は変わらない。

3 (1)「あなたが次に何をするつもりなのか」を間接疑問文として、〈tell+A(目的語)+B(目的語)〉のBにする。疑問詞の後ろは肯定文と同じ語順にする。(2)「いちばん近いバス停はどこか」を間接疑問文として、〈tell+A(目的語)+B(目的語)〉のBにする。疑問詞の後ろは肯定文と同じ語順にする。(3)「～したことがありますか」なので現在完了形の経験用法の疑問文にする。

pp.40~41

びたトレ 1 (Part 3)

Words & Phrases

- (1)折り鶴 (2)～を折る (3)～かなと思う
(4)kept (5>true (6)off

1 (1)イ (2)ア (3)ア

2 (1)how to make (2)you know how to use
(3)Do you know how to play

3 (1)I didn't know what to say(.)
(2)She told me where to buy stamps
(3)He wanted to climb the mountain(.)

- 1 (1)「どこに～すればいいか」は〈where to + 動詞の原形〉で表す。(2)「どう(=何を)すればいいか」は〈what to + 動詞の原形〉で表す。(3)「いつ～すればいいか」は〈when to + 動詞の原形〉で表す。〈疑問詞 + to + 動詞の原形〉は〈動詞 + A(目的語) + B(目的語)〉のBの位置にくる。
- 2 (1)「あなたはピザの作り方を知っていますか。」(2)「あなたはこの掃除機の使い方を知っていますか。」(3)「あなたはクラリネットの演奏のし方を知っていますか。」
- 3 (1)「何を言えばいいか」を〈what to + 動詞の原形〉で表し、knowの目的語とする。(2)「この近くではどこで切手を買えばいいか」を〈where to + 動詞の原形〉で表し、〈tell + A(目的語) + B(目的語)〉のBとする。(3)「～したいと思っていました」は、want to ～を過去形にして表す。

pp.42~43 びたトレ 1 (Read & Think)

Words & Phrases

- (1)悲惨な (2)平和に (3)減る (4)次々に
(5)thrown (6)skin (7)burn (8)fact

- 1 (1)ア (2)ア (3)ア
- 2 (1)The moment I (2)just finished cleaning
(3)is getting crowded
- 3 (1)the moment she arrives
(2)You have to continue practicing hard
(3)It is important to understand others(.)

- 1 (1)「興味を持つようになった」は〈get + 形容詞〉で表す。(2)「部屋に入るとすぐに」はthe moment ～で表す。(3)「テニスをプレーし続ける」はcontinue ～ing(動名詞)で表す。
- 2 (1)「私が門を開けるとすぐに」はthe moment ～で表す。the momentの後ろには〈主語 + 動詞〉が続く。(2)「部屋を掃除し終える」はfinish ～ing(動名詞)で表す。〈to + 動詞の原形〉(不定詞)をfinishの目的語にすることはできない。(3)「こみ合っている」は〈get + 形容詞〉を現在進行形にして表す。
- 3 (1)「(彼女が)着いたらすぐに」はthe moment ～で表す。the momentの後ろは〈主語 + 動詞〉のshe arrivesを続ける。(2)「熱心に練習し続ける」はcontinue ～ing(動名詞)で表す。(3)「…することは～です」は〈It is ～ to + 動詞の原形...〉で表す。

Words & Phrases

- (1)植物園 (2)路線 (3)タワー (4)Excuse
(5)get (6)welcome

- 1 (1)Take, change (2)off
- 2 (1)At Akihabara, change to the Yamanote Line(.) (2)Take the Tozai Line to Nijojo-mae(.)

- 1 (1)道案内で電車に乗るように言うときには、Take the ～ Line[～線に乗ってください]というように命令形で教える。takeは乗り物を利用する、(中に入って)乗るときに使い、バス、タクシーなどに乗る場合にも使う。乗り換えを説明するときにはchange to ～を使う。(2)地図によると平安神宮に行くには東山で降りることがわかる。下線部の前にはGetがあるのでoffを入れて「降りる」という意味にする。
- 2 (1)「～に乗り換える」をchange to ～で表す。文頭にどこで乗り換えるのかを説明するAt ～, を, toの後ろに乗り換える線を置く。(2)toは「～へ, ～まで」という到達の意味があるので、後ろに目的地であるNijojo-maeを置く。その前にTake ～[～に乗って]を命令形で置けば完成する。

- 1 (1)like the best (2)What, your favorite
(3)What, think of

- 1 (1)「あなたはどの～がいちばん好きですか」はWhich ～ do you like the best?で表す。(2)「あなたのお気に入りの～は何ですか。」はWhat is your favorite ～?で表す。(3)「あなたは～についてどう思いますか」はWhat do you think of ～?で表す。

- 1 (1)ウ (2)イ (3)エ (4)ウ
- 2 (1)us what he wanted (2)us where to carry (3)Take, to (4)At, change to
- 3 (1)Do you know what Emma said?
(2)Tell me how many T-shirts you have.
(3)Can you tell me when Alex will get home? (4)Bob doesn't know how to open the box.

4 (1) know where we're going to go (2) were dropped (3) 戦争と平和について学ぶこと

5 (1) She was eight years old. (2) She saw "hell."

考え方

1 (1)「私は彼がどのように日本語を学んだのかわかりたいです。」(2)「あなたはだれがこのコンピューターを使っているか知っていますか。」(3)「私は彼女がどの教科がいちばん好きか知りません。」(4)「私に何を着ればいいのか教えてもらえますか。」

2 (1)「(彼が)何をしたいのか」を間接疑問文として、〈tell + A(目的語) + B(目的語)〉のBにする。文全体の動詞が過去形のtoldなので、間接疑問文の動詞も過去形のwantedにする。(2)「これらの箱をどこへ運べばいいのか」を〈where to + 動詞の原形〉で表し、〈tell + A(目的語) + B(目的語)〉のBにする。(3)「…まで～に乗る」はtake ~ to ...で表す。(4)「～で…に乗り換える」はat ~, change to ...で表す。

3 (1)疑問詞で始まる疑問文を間接疑問文にしてknowの目的語にする。did Emma sayをEmma saidという肯定文と同じ語順にする。書きかえた文の意味は「あなたはエマが何を言ったか知っていますか。」となる。(2)〈疑問詞 + 語句〉で始まる疑問文を間接疑問文にして、〈tell + A(目的語) + B(目的語)〉のBにする。do you haveをyou haveという肯定文と同じ語順にする。書きかえた文の意味は「あなたがTシャツを何枚持っているか私に教えて。」となる。(3)疑問詞で始まる疑問文を間接疑問文にして、〈tell + A(目的語) + B(目的語)〉のBにする。will Alex get homeをAlex will get homeという肯定文と同じ語順にする。書きかえた文の意味は「アレックスがいつ帰宅する予定か私に教えてくださいませんか。」となる。(4)間接疑問文の〈how ~ can + 動詞の原形〉を〈how to + 動詞の原形〉に置きかえて、ほぼ同じ意味を表すことができる。書きかえた文の意味は「ボブはその箱の開け方を知りません。」となる。

4 (1) ()に疑問詞whereと〈主語 + 動詞〉のwe're, さらに動詞のknowがあるので、間接疑問文がknowの目的語となった文にする。(2)「落とされた」なので受け身形の過

去の文にする。(3)直前の相手の発言にWe're going to learn about war and peace.「私たちは戦争と平和について学ぶ予定です。」とあるので、ここから必要な部分を抜き出してまとめる。

全訳

チェン：修学旅行でどこへ行く予定か知っていますか？

アオイ：ええ。広島を訪れる予定よ。

チェン：第二次世界大戦中に広島と長崎に原子爆弾が落とされたことを知っているよ。

アオイ：その通りよ。私たちは戦争と平和について学ぶ予定だよ。

チェン：なるほど。それはとても重要だね。

5 (1)質問文の意味は「その爆弾が広島を襲ったとき、恵美子さんは何歳でしたか。」で、Emiko was eight years old when the bomb hit Hiroshima.「その爆弾が広島を襲ったとき、恵美子さんは8歳でした。」とあるので、この内容を答える。(2)質問文の意味は「外に出たとき、恵美子さんは何を見ましたか。」で、She saw "hell" when she went outside.「外に出たとき、彼女は『地獄』を見ました。」とあるので、この内容を答える。

全訳

その爆弾が広島を襲ったとき、恵美子さんは8歳でした。その爆弾のせん光を見るとすぐに、彼女の体は地面にたたきつけられました。外に出たとき、彼女は『地獄』を見ました。すべてが破壊され燃えていました。人々の皮ふは焼かれてぼろきれのように垂れ下がっていました。人々は次々と亡くなりました。彼女は何をすればいいかわかりませんでした。

pp.48~49

びたトレ3

1 (1)× (2)○ (3)×

2 (1)ア (2)ア (3)イ

3 (1) know who wrote (2) what he wanted (3) me how to make

4 (1) what kind of art she likes the best (2) how many times you have been (3) decide which to choose

5 (1) what to do in the future (2) 彼女はもう大学で何を学ぶか決めてしまいました。(3) know what you should study (4) come true (5) イ

- 6 (1) I didn't know why she was laughing.
 (2) Could you tell me where to get off the bus?
 (3) Take the Yamanote Line to Mejiro.

考え方

- 1 (1)「爆弾」「～かなと思う」(2)「～を上達させる」「歯痛」(3)「throwの過去分詞形」「くもった」
- 2 (1)最初の音節を強く読む。(2)最初の音節を強く読む。(3)2番目の音節を強く読む。
- 3 (1)「だれがこれらの本を書いたか」を間接疑問文で表し、knowの目的語とする。疑問詞が主語の疑問文は、間接疑問文になっても語順は変わらない。(2)「(彼が)誕生日に何がほしいか」を間接疑問文で表し、(tell + A(目的語) + B(目的語))のBにする。文全体の動詞が過去形のtoldなので、間接疑問文の動詞も過去形のwantedにする。(3)「レモネードの作り方」を(how to + 動詞の原形)で表し、(show + A(目的語) + B(目的語))のBにする。
- 4 (1)「彼女がどんな種類の芸術がいちばん好きか」を間接疑問文で表す。what kind of artの後ろは、肯定文と同じ語順にする。(2)「あなたが何回ハワイへ行ったことがあるか」を間接疑問文で表す。how many timesの後ろは、肯定文と同じ語順にする。(3)「どちらを選ぶか」を(which to + 動詞の原形)で表し、decideの目的語とする。
- 5 (1)()にwhat, toと動詞の原形のdoがあるので、(疑問詞 + to + 動詞の原形)の形にする。(2)has already decidedは現在完了形の完了用法で、what to study in collegeが目的語となっている。(3)「あなたたちが将来のために何を学ぶべきか」を間接疑問文で表し、knowの目的語とする。(4)「実現する」をcome trueで表す。(5)前がunderstandで後ろが(主語 + 動詞)のI'm saying, そして選択肢がすべて疑問詞なので、間接疑問文だと判断できる。whyかwhenではsayingの後ろに目的語がないと文が成立しないので、whatが適切。

全訳

あなたたちの夢は何ですか。中学生が将来何をすべきか決めるのは難しいかもしれませんが。私はある少女と知り合いです。彼女は高校生です。彼女はもう大学で何を学ぶか決めてし

まっています。彼女には医者になるという夢があります。

あなたたちが将来のために何を学ぶべきかわからないのならば、自分自身についてよく考えなければなりません。将来何をしたいかを見つけるために、最善をつくしてください。

努力すれば夢が実現することも可能でしょう。私が何を言っているのか、あなたたちが理解してくれることを望みます。聞いてくれてありがとう。

- 6 (1)「彼女がなぜ笑っているのかわからなかった」なので、間接疑問文を含む文にする。文全体の動詞が過去形なので、間接疑問文も過去進行形にする。(2)「どこでバスを降りればいいか」なので、(疑問詞 + to + 動詞の原形)を含む文にする。(3)交通機関について案内するとき、「…まで～に乗る」をtake ~ to ...で表す。

英作文の採点ポイント

- 単語のつづりが正しい。(2点)
- ()内の語数で書けている。(2点)
- (1)間接疑問文が正しく使えている。(2)(疑問詞 + to + 動詞の原形)が正しく使えている。(3)take ~ to ...が正しく使えている。(4点)

Unit 4 ~ Let's Talk 4

pp.50~51

びたトレ 1 (Part 1)

Words & Phrases

- (1)スロープ (2)車いす (3)ベビーカー
(4)stair(s) (5)classical (6)borrow

- 1** (1)ア (2)イ (3)イ
2 (1)Reading, makes, sad (2)Listening, makes me relaxed (3)Working, makes me hungry
3 (1)Eating good food makes us healthy(.)
(2)What makes you excited(?)
(3)It is hard to climb the mountain(.)

考え方

- 1** (1)「～を怒らせました」なので〈make + A(目的語) + B(形容詞)〉の形にする。(2)「～を黄色に塗りました」なので〈paint + A(目的語) + B(形容詞)〉の形にする。(3)「私を幸福にします」なので〈make + A(目的語) + B(形容詞)〉の形にする。「私を」はme。
2 (1)「この本を読むと私は悲しくなります(←この本を読むことは私を悲しくさせる)。」(2)「彼女の歌を聞くと私はリラックスします(←彼女の歌を聞くことは私をリラックスさせる)。」(3)「熱心に働くとは私はおなかがすきます(←熱心に働くことは私におなかをすさせる)。」
3 (1)「私たちを健康にします」は〈make + A(目的語) + B(形容詞)〉で表す。Eating good foodを主語とする。(2)「あなたは何にわくわくしますか」は「何があなたをわくわくさせますか」と考えて、〈make + A(目的語) + B(形容詞)〉で表す。Whatが主語の疑問文とする。(3)「…することは～です」は〈It is ~ to + 動詞の原形...〉で表す。

pp.52~53

びたトレ 1 (Part 2)

Words & Phrases

- (1)援助 (2)パートナー (3)身体障がい
(4)allow (5)salt (6)wake

- 1** (1)ア (2)ア (3)ア
2 (1)want, to close (2)want him to study
(3)She wants the girl to get up
3 (1)Mike asked Donna to dance
(2)Her parents want her to be a doctor(.)
(3)likes him because he is

考え方

- 1** (1)「彼に宿題をするように言いました」なので、〈tell + 人(目的語) + to + 動詞の原形〉の形にする。(2)「彼女にアップルパイを作るように頼みました」なので、〈ask + 人(目的語) + to + 動詞の原形〉の形にする。「彼女に」はher。(3)「彼らに静かにしてもらいたかったです」なので、〈want + 人(目的語) + to + 動詞の原形〉の形にする。
2 (1)「私はあなたに窓を閉めてほしいです。」(2)「私たちは彼にもっと熱心に勉強してほしいです。」(3)「彼女はその女の子に起きてほしいです。」
3 (1)「人に～するように頼みました」は〈ask + 人(目的語) + to + 動詞の原形〉で表す。(2)「人に～してほしいと思っています」は〈want + 人(目的語) + to + 動詞の原形〉で表す。(3)「～なので」は接続詞のbecauseで表す。

pp.54~55

びたトレ 1 (Part 3)

Words & Phrases

- (1)多目的の (2)特徴 (3)手すり (4)wide
(5)switch (6)lever

- 1** (1)ア (2)イ (3)イ
2 (1)helped, wash (2)helped my father repair
(3)I helped him paint
3 (1)She helped her brother improve his English(.)
(2)His parents let him study abroad
(3)That mountain is easy to climb(.)

考え方

- 1** (1)「人が～するのを手伝いました」は〈help + 人(目的語) + 動詞の原形〉で表す。(2)「人に～させました」は〈let + 人(目的語) + 動詞の原形〉で表す。「彼らに」はthem。(3)「私に～を知らせる」は、〈let + 人(目的語) + 動詞の原形〉を使ってlet me know ~と表す。
2 (1)「私は母が皿を洗うのを手伝いました。」(2)「私は父がその自転車を修理するのを手伝いました。」(3)「私は彼が壁にペンキを塗るのを手伝いました。」
3 (1)「弟が英語を上達させる手助けをしました」は〈help + 人(目的語) + 動詞の原形〉で表す。(2)「彼をアメリカに留学させました」は〈let + 人(目的語) + 動詞の原形〉で表す。(3)「～は…するのが簡単です」は、〈主語 + is[are] easy to + 動詞の原形〉で表す。

Words & Phrases

- (1)~に触れる (2)~を理解する (3)危険な
 (4)安全な (5)feet (6)gave (7)difference
 (8)became

- 1** (1)イ (2)イ (3)ア
2 (1)me those photos (2)would be
 (3)looked like
3 (1)She gave us these vegetables
 (2)That building looks like a chair(.)
 (3)the biggest difference between lions
 and tigers

考え方

- 1** (1)文全体の動詞が過去形の believedなので、時制の一致で「~だろう」は will の過去形の would で表す。(2)「私にカメラを買ってくれました」は〈buy + A(目的語) + B(目的語)〉で表す。この形では A が「人」を表す目的語となる。(3)「~のように見える」は look like ~ で表す。
2 (1)「それらの写真を私に見せてくれました」は〈show + A(目的語) + B(目的語)〉で表す。「人」を表す me を A の位置に置く。(2)文全体の動詞が過去形の thought なので、時制の一致で「~だろう」は will の過去形の would で表す。(3)「~のように見える」は look like ~ で表す。
3 (1)「私たちにこれらの野菜をくれました」は〈give + A(目的語) + B(目的語)〉で表す。「人」を表す us を A の位置に置く。(2)「~のように見える」は look like ~ で表す。(3)「~と…のちがいは」は the difference between ~ and … で表す。

- 1** (1)イ (2)ア (3)イ (4)イ
2 (1)what she said (2)me why he wanted (3)
 know what time she arrived (4)I asked
 him what to do
3 (1)where he is going to stay
 (2)She knows who brought these flowers(.)
 (3)tell me how to get to the museum

考え方

- 1** (1)「あの男性がだれか」が know の目的語になっているので、間接疑問文の〈疑問詞 + 主語 + 動詞〉の語順にする。(2)「あなたがこれらの写真をどのようにとったか」が〈tell + A

(目的語) + B(目的語)〉の B になっているので、疑問詞の後ろを疑問文の語順にせず〈疑問詞 + 主語 + 動詞〉とする。(3)「彼女がどこへ行ったか」が〈ask + A(目的語) + B(目的語)〉の B になっているので、疑問詞の後ろを疑問文の語順にせず〈疑問詞 + 主語 + 動詞〉とする。(4)「彼にいつ電話すればいいか」は〈when to + 動詞の原形〉で表す。〈疑問詞 + to + 動詞の原形〉は〈動詞 + A(目的語) + B(目的語)〉の B の位置にくる。

- 2** (1)「彼女が何を言ったのか」を間接疑問文として、understand の目的語とする。疑問詞の後ろを肯定文と同じ語順にする。(2)「(彼が)なぜそうしたいのか」を間接疑問文として、〈tell + A(目的語) + B(目的語)〉の B にする。疑問詞の後ろを肯定文と同じ語順にする。文全体の動詞が過去形の told なので、間接疑問文の動詞も過去形の wanted にする。(3)「彼女がここに何時に着いたか」を間接疑問文として、know の目的語とする。what time の後ろを肯定文と同じ語順にする。(4)「パーティーで何をすればいいか」を〈what to + 動詞の原形〉で表し、〈ask + A(目的語) + B(目的語)〉の B にする。
3 (1)「彼がどこに泊まる予定か」を間接疑問文として、know の目的語とする。疑問詞の後ろは肯定文と同じ語順にする。(2)「だれがこれらの花を持ってきたか」を間接疑問文として、know の目的語とする。疑問詞が主語の疑問文は、間接疑問文になっても語順は変わらない。(3)「美術館へどうやって行けばいいか」を〈how to + 動詞の原形〉で表し、〈tell + A(目的語) + B(目的語)〉の B にする。

- 1** (1)ア (2)ア (3)イ (4)イ
2 (1)makes him nervous (2)wants her father
 to buy (3)told, students to sit (4)helped,
 girl move
3 (1)Her present made him very happy(.)
 (2)Mr. Hill told us to look at the sign
 (3)you help me water the garden
 (4)They let me read the report(.)

考え方

- 1** (1)「私を幸福にします」なので〈make + A(目的語) + B(形容詞)〉の形にする。「私を」は

me。(2)「彼女にこれらの歌を歌ってほしい」なので、〈want+人(目的語)+to+動詞の原形〉の形にする。「彼女に」はher。(3)「アレックスにジャケットを着るように言いました」なので、〈tell+人(目的語)+to+動詞の原形〉の形にする。(4)「私たちにそれらの写真を見せてくれました」は「私たちにそれらの写真を見させた」と考え、〈let+人(目的語)+動詞の原形〉で表す。

- 2** (1)「彼を緊張させます」は〈make+A(目的語)+B(形容詞)〉で表す。「彼を」はhim。(2)「父親にギターを買ってもらいたい」は〈want+人(目的語)+to+動詞の原形〉で表す。(3)「生徒たちに座るように言いました」は〈tell+人(目的語)+to+動詞の原形〉で表す。(4)「女の子がテーブルを動かすのを手伝いました」は〈help+人(目的語)+動詞の原形〉で表す。

- 3** (1)「プレゼントで彼はとても幸福な気持ちになりました」は「プレゼントが彼をとっても幸福にした」と考え、〈make+A(目的語)+B(形容詞)〉で表す。(2)「私たちに掲示をもう一度見るように言いました」は〈tell+人(目的語)+to+動詞の原形〉で表す。(3)「私が庭に水やりをするのを手伝う」は〈help+人(目的語)+動詞の原形〉で表す。(4)「私にそのレポートを読ませてくれました」は〈let+人(目的語)+動詞の原形〉で表す。

pp.62~63

びたトレ 1 (Let's Talk 4)

Words & Phrases

(1)～に繰り返し電話する (2)外出している
(3)までに (4) later (5) sure (6) soon

- 1** (1)ア (2)イ (3)ア
2 (1) May I speak (2) Could you please tell, back
3 (1) Could you please tell her to call me back(?) (2) Could you please tell him to check his e-mail(?) (3) Could you please come to school by seven tomorrow(?)

考え方

- 1** (1)「外出中です」=〈be動詞+out〉 (2)「人に～するように言う」=〈tell+人(目的語)+to+動詞の原形〉 (3)「電話をかけなおす」=call back
2 (1)電話を取り次いでもらうときの「～をお願

います」はMay I speak to ~, please?。(2)話したい相手が不在であることがわかるので、「彼におり返し私に電話をくれるよう伝えていただけますか。」という意味となるようにすれば文意が通る。

- 3** 「～していただけますか。」をCould you please ~?で表す。(1)「彼女におり返し私に電話をくれるよう伝える」=tell her to call me back (2)「メールをチェックするよう彼に伝える」=tell him to check his e-mail (3)「明日、7時までに学校に来る」=come to school by seven tomorrow

pp.64~65

びたトレ 2

- 1** (1)エ (2)イ (3)エ (4)ア
2 (1)made Sue angry (2)asked the woman to open (3)let me wash my face (4)Could you, tell
3 (1)Taking a bath makes me relaxed. (2)He told the students to stop talking. (3)Do you want me to help you? (4)My mother let me listen to the CD.
4 (1)車いす (2)It, to (3)The ramps make many people happy
5 (1) Sora's uncle does. (2) They are partners.

考え方

- 1** (1)「その知らせが私たちを興奮させました。」(2)「彼女は彼らに彼女の話を聞いてほしかったのです。」(3)「私は彼に私の部屋に入るように言いました。」(4)「その男の子は彼女がかぎを見つけるのを手伝いました。」
2 (1)「彼の手紙にスーは怒りました」は「彼の手紙がスーを怒らせた」と考え、〈make+A(目的語)+B(形容詞)〉で表す。(2)「その女性にドアを開けてくれるように頼みました」は〈ask+人(目的語)+to+動詞の原形〉で表す。(3)「私に顔を洗わせる」は〈let+人(目的語)+動詞の原形〉で表す。(4)「～していただけますか」と相手に頼むときは、Could you please ~?を使う。
3 (1)Taking a bathを主語とした〈make+A(目的語)+B(形容詞)〉の文にする。(2)the studentsを目的語とした〈tell+人(目的語)+to+動詞の原形〉の文とする。「話すのをやめる」はstop talking。(3)meを目的語とした〈want+人(目的語)+to+動詞の原形

の文とする。(4)meを目的語とした<let + 人(目的語) + 動詞の原形>の文とする。動詞letの過去形はletで、原形と形が変わらない。

- 4 (1)下線部①を含む文が「その利用者はスロープを上り下りすることができます。」という意味で、その直前の文のThey are for wheelchair users.が「それら(=スロープ)は車いすの利用者のためのものです。」という意味なので、①のthe usersは「車いす」を使っているとわかる。(2)is hardの後ろのほうに動詞の原形のgoがあるので、<It is ~ to + 動詞の原形...>の文にする。(3) ()にmake, happyと「人」を表すmany peopleがあるので、<make + A(目的語) + B(形容詞)>の文にする。

全訳

駅や店にはスロープがあります。それらは車いすの利用者のためのものです。その利用者はスロープを上り下りすることができます。これらのスロープは、ベビーカーや重いスーツケースがある人にも役立ちます。このようなものがあって階段を上り下りするのは大変です。スロープはたくさんの人々を満足させます。

- 5 (1)質問文の意味は「だれが補助犬を使っていますか。」で、Soraの発言にMy uncle uses an assistance dog.「私のおじが補助犬を使っています。」とあるので、これをもとに答える。(2)質問文の意味は「身体障がいのある人々にとって補助犬とは何ですか。」で、Assistance dogs are not pets, but partners for people with disabilities.「身体障がいのある人々にとって、補助犬はペットではなくパートナーです。」とあるので、これをもとに答える。

全訳

私のおじは補助犬を使っています。彼はときどき、犬といっしょに店やレストランに入れさせてもらえないことがあります。身体障がいのある人々にとって、補助犬はペットではなくパートナーです。補助犬は十分に訓練されているので、決してトラブルを起こしません。もっと多くの人々に補助犬について知ってもらいたいです。

quiet (3)helped his sister carry

- 4 (1)What makes you so busy(?)
(2)You should let her know
(3)you please tell her to send
- 5 (1)ウ
(2)He helps me get better at skiing(.)
(3)makes, happy (4)私はみんなが健康であつてほしいです。(5)ウ
- 6 (1)Playing the piano makes me happy.
(2)I want you to understand me.
(3)I helped them grow vegetables.

考え方

- 1 (1)「ベビーカー」「塩」(2)「～を許可する」「ほこりに思つて」(3)「危険な」「becomeの過去形」
- 2 (1)最初の音節を強く読む。(2)最初の音節を強く読む。(3)最初の音節を強く読む。
- 3 (1)「彼を有名にしました」を<make + A(目的語) + B(形容詞)>で表す。「彼を」はhim。(2)「彼に静かにするように言いました」を<tell + 人(目的語) + to + 動詞の原形>で表す。「彼に」はhim、「静かにする」はbe quiet。(3)「妹がスーツケースを自動車まで運ぶのを手伝いました」を<help + 人(目的語) + 動詞の原形>で表す。
- 4 (1)「あなたはどのようにそんなにいそがしい」を「何があなたをそんなにいそがしくさせる」と考え、<make + A(目的語) + B(形容詞)>で表す。(2)「彼女に～と知らせる」を<let + 人(目的語) + 動詞の原形>で表す。(3)「～していただけますか」と相手に頼むときは、Could you please ~?を使う。
- 5 (1)<ask + 人(目的語) + to + 動詞の原形>の形になっているウが適切。(2)heの動詞として適しているのはhelpsだけで、he helpsと残りの語句を組み合わせると<help + 人(目的語) + 動詞の原形>の形にすることができる。(3)「私の家族を幸福な気持ちにします」は<make + A(目的語) + B(形容詞)>で表す。(4)beはbe動詞の原形で、<want + 人(目的語) + to + 動詞の原形>の文になっている。(5)ア「ユカは10年以上の間スキーをしています。」は、I've been skiing for over ten years.「私は10年以上の間スキーをしています。」と一致。イ「ユカの父と兄は上手にスキーをすることができます。」はMy father is very good at it.「父はそ

- 1 (1)× (2)○ (3)○
2 (1)ア (2)ア (3)ア
3 (1)made him famous (2)told him to,

れ(=スキー)がとても得意です。]およびHe skis better than me.[彼(=兄)は私よりも上手にスキーをします。]と一致。ウ「ユカはスキーをすることが健康にいいとは思っていません。」はI think skiing makes our bodies stronger.[スキーをすることは私たちの体をより強くすると私は思います。]と不一致。

全訳

こんにちは、みなさん。私の名前はユカです。あなたの好きなスポーツは何ですか。私の好きなスポーツはスキーです。私は10年以上の間スキーをしています。

私は毎年冬に家族とスキーをしに行きます。父はそれがとても得意です。私はよく彼に、速く安全にスキーをすべる方法を教えてくれるように頼みます。彼は私がスキーをもっとうまくなるのを手伝ってくれます。

私には兄がいます。彼は私よりも上手にスキーをします。私の家族は全員スポーツが好きです。スポーツをすることが私の家族を幸福な気持ちにします。

スキーをすることは私たちの体をより強くすると私は思います。健康を改善するために何かすることは大切です。私はみんなが健康であってほしいです。

6 (1)「～で自分は幸福な気持ちになる」は「～が私を幸福な気持ちにさせる」と考え、〈make + A(目的語) + B(形容詞)〉の文にする。(2)「自分(=私)のことを理解してほしい」なので、〈want + 人(目的語) + to + 動詞の原形〉の文にする。(3)「彼らが野菜を育てるのを手伝った」なので、〈help + 人(目的語) + 動詞の原形〉の過去の文にする。

英作文の採点ポイント

- 単語のつづりが正しい。(2点)
- ()内の語数で書けている。(2点)
- (1)〈make + A(目的語) + B(形容詞)〉が正しく使えている。(2)〈want + 人(目的語) + to + 動詞の原形〉が正しく使えている。(3)〈help + 人(目的語) + 動詞の原形〉が正しく使えている。(4点)

Unit 5 ~ Let's Talk 5

pp.68~69

びたトレ 1 (Part 1)

Words & Phrases

- (1)屋根裏部屋 (2)ユダヤ人の (3)迫害する
(4)German (5)diary (6)god

1 (1)ア (2)イ (3)イ

2 (1)aunt who lives (2)friend who has
(3)cousin who plays

3 (1)meet a student who goes to that college
(2)the only girl that can play the violin
(3)What a beautiful garden(!)

考え方

1 (1)「その野球チームに所属する2人の男子」を主格の関係代名詞を使って表す。先行詞が「人」なのでwhoを使う。(2)「そこに行きたがっているただ1人の科学者」を主格の関係代名詞を使って表す。thatは先行詞が「人」でも使える。関係代名詞に続く動詞の形は先行詞に合わせる。(3)「メキシコ出身の女性」を主格の関係代名詞を使って表す。a womanが先行詞となる形にする。

2 (1)「私にはイギリスに住んでいるおばがいます。」(2)「私には本をたくさん持っている友だちがいます。」(3)「私には大学でラグビーをしているいとこがいます。」

3 (1)「その大学に通う学生」を主格の関係代名詞whoを使って表す。a studentを先行詞とする。(2)「私たちのクラスでバイオリンをひけるただ1人の女の子」を主格の関係代名詞thatを使って表す。the only girlを先行詞とする。(3)「なんとという(…な)~なのでしょう」は(What a[an] + (形容詞+) 名詞!)で表す。

pp.70~71

びたトレ 1 (Part 2)

Words & Phrases

- (1)冷蔵庫 (2)山腹 (3)南極(地方)
(4)washing machine (5)oven (6)heat

1 (1)ア (2)イ (3)ア

2 (1)dog which has (2)car which runs
(3)dictionary which gives

3 (1)take a train which leaves at
(2)works for a shop that sells furniture
(3)I've heard that song

考え方

1 (1)「10年前に建てられた家」を主格の関係代名詞を使って表す。先行詞が「もの」なのでwhichを使う。(2)「病院へ行くバス」を主格の関係代名詞を使って表す。thatは先行詞が「もの」でも使える。(3)「7時に始まるパーティー」を主格の関係代名詞を使って表す。a partyが先行詞となる形にする。関係代名詞に続く動詞の形は先行詞に合わせる。

2 (1)「私は長い耳のイヌがほしいです。」(2)「その男性は速く走る自動車がほしいのです。」(3)「その男の子はたくさんの役に立つ情報をくれる辞書がほしいのです。」

3 (1)「午後2時に出発する電車」を主格の関係代名詞whichを使って表す。a trainを先行詞とする。(2)「家具を売る店」を主格の関係代名詞thatを使って表す。a shopを先行詞とする。(3)「~を聞いたことがあります」なので、現在完了形の経験用法の文にする。

pp.72~73

びたトレ 1 (Part 3)

Words & Phrases

- (1)しょう油 (2)写真 (3)Eve (4)get

1 (1)ア (2)イ (3)ア

2 (1)boy that I know (2)guitar I want
(3)bag he uses

3 (1)Malaysia is a country which I've never been to(.)
(2)The man she visited last Sunday is Mr. Yamada.(.)
(3)I like tennis the best

考え方

1 (1)「彼女が私にくれた辞書」を目的格の関係代名詞を使って表す。先行詞が「もの」なのでwhichを使う。(2)「あなたが昨日会った女の子」を目的格の関係代名詞を使って表す。thatは先行詞が「人」でも使える。(3)「あなたが作ったケーキ」を目的格の関係代名詞を省略した形で表す。the cakeをyou madeが後ろから修飾する形になる。

2 (1)「彼は私がとてもよく知っている男の子です。」(2)「これは私がほしいギターです。」(3)「これは彼が毎日使っているバッグです。」

3 (1)「私が行ったことのない国」を目的格の関係代名詞whichを使って表す。a countryを先行詞とする。(2)「彼女がこの前の日曜日に訪問した男性」を目的格の関係代名詞を省略した形で表す。the manをshe visited

last Sundayが後ろから修飾する形になる。
(3)「テニスがいちばん好きだ」は、like ~ the bestで表す。

pp.74~75

びたトレ 1 (Read & Think)

Words & Phrases

- (1)歴史的な (2)生々しく (3)近代の
(4)人類 (5)shown (6)held (7)receive
(8)first

- 1 (1)イ (2)ア (3)ア
2 (1)Since, has developed (2)such as
(3)about what we should
3 (1)has been very popular since she became
(2)think about how important it is
(3)the first Japanese to win the Nobel Prize

考え方

- 1 (1)「～がずっと増加してきています」なので現在完了形の継続用法の文にする。「それ以来」はsince then。(2)「～のような果物」はsuch as ~で表す。(3)「どのようにすれば社会をよりよくできるかについて」は、前置詞aboutの後ろを間接疑問文にして表す。
2 (1)「ずっと発展してきています」は現在完了形の継続用法で表す。「～以来」はsince。(2)「～のような言語」はsuch as ~を使って表す。(3)「今何をすべきかについて」は、前置詞aboutの後ろを間接疑問文にして表す。
3 (1)「ずっととても人気があります」は現在完了形の継続用法で表す。(2)「熱心に勉強することがいかに大切かについて」は、前置詞aboutの後ろをhow importantで始まる間接疑問文にして表す。(3)「…する[した]最初の～」は、不定詞の形容詞的用法を使った〈the first+名詞+to+動詞の原形～〉という形で表す。

pp.76~77

びたトレ 1 (Let's Talk 5)

Words & Phrases

- (1)週末 (2)すばらしい (3)スキーをする
(4)試合 (5)Not bad (6)terrible (7)exam
(8)fun

- 1 (1)ア (2)ア (3)ア
2 (1)How was, festival, fun (2)How was the trip, It was great
3 (1)How was the concert(?) (2)How was the soccer game last weekend(?)
(3)Nagano is a good place to ski(.)

考え方

- 1 (1)「～はどうだった?」=How was ~? (2) (a lot of) funは出来事などについて述べる表現なので、Itを選ぶ。(3)「楽しい時間を過ごす」=have a great time
2 (1)「お祭りはどうでしたか?」「楽しかったです。」(2)「旅行はどうでしたか?」「すばらしかったです。」It was great.とても楽しかったという気持ちを伝えることができる。
3 (1)(2)「～はどうだった?」はHow was ~?で表す。(3)「～するのにいい場所」は〈a good place to+動詞の原形～〉で表す。

pp.78~79

びたトレ 2

- 1 (1)エ (2)ウ (3)エ (4)エ
2 (1)friend who[that] has climbed (2)birds that[which] can swim (3)countries I want (4)How was
3 (1)(She was) a doctor who saved a lot of people(.)
(2)(My father has) a bicycle which was made in Italy(.)
(3)(He is) a scientist that I respect.(.)
(4)(I like) those photos one famous photographer took(.)
4 (1)heard (2)invented the food that you like the best (3)don't get
5 (1)Three astronauts went to the moon on Apollo 11. (2)They wore special suits that protected them in space.

考え方

- 1 (1)「私はギターをととても上手にひく女の子と知り合いです。」(2)「こちらは金沢へ行く電車ですか。」(3)「私はヒルさんが英語を教えている何人かの生徒たちと会う予定です。」(4)「数学は私がいちばん好きな教科です。」
2 (1)「あの山に2回登ったことがある友だち」を主格の関係代名詞を使って表す。先行詞が「人」なので関係代名詞はwhoまたはthatを使う。(2)「とても速く泳ぐことができる鳥」を主格の関係代名詞を使って表す。先行詞が「動物」なので関係代名詞はthatまたはwhichを使う。(3)「私が行きたい国々」は目的格の関係代名詞を使って表すことができるが、空所の数からこれを省略した形にする。countriesの直後にI wantを続ける。(4)感想をたずねて「～はどうでしたか?」と言うときは、How was ~?を使う。

3 (1) a doctorと2文目のsheが同じ人物でa doctorが動詞savedの主語なので、2つの文を主格の関係代名詞whoでつなぐ。書きかえた文の意味は「彼女は多くの人々を救った医者でした。」となる。(2) a bicycleと2文目のitが同じものでa bicycleが動詞wasの主語なので、2つの文を主格の関係代名詞whichでつなぐ。書きかえた文の意味は「私の父はイタリア製の自転車を持っています。」となる。(3) a scientistが2文目の目的語himと同じ人物なので、2つの文を目的格の関係代名詞thatでつなぐ。書きかえた文の意味は「彼は私が尊敬している科学者です。」となる。(4) those photosが2文目の目的語themと同じもの。目的格の関係代名詞を省略した形で2つの文をつなぐ。one famous photographer tookがthose photosを後ろから修飾する形にする。書きかえた文の意味は「私はある有名な写真家がとったそれらの写真が好きです。」となる。

4 (1) I've neverで始まる現在完了形の経験用法の文なので、過去分詞形にする。(2) ()にthatがあるので、「あなたがいちばん好きな食べ物」はthe foodを先行詞として目的格の関係代名詞thatを使って表す。これがinventedの目的語となる。(3) 「わかる」をget itで表す。

全訳

チェン：この男の人はだれ？
アオイ：その人は安藤百福よ。
チェン：彼のことは聞いたことがないよ。彼は何をしたの？
アオイ：彼はあなたがいちばん好きな食べ物を発明したのよ。
チェン：何のことかわからないよ。
アオイ：それは像が右手に持っている食べ物よ。
チェン：あっ！

5 (1) 質問文の意味は「1969年に何が起きたか。」で、Three astronauts went to the moon on Apollo 11 in 1969. 「1969年に3人の宇宙飛行士がアポロ11号で月へ行きました。」とあるので、この内容を答える。(2) 質問文の意味は「宇宙飛行士は何を着ましたか。」で、They wore special suits that protected them in space. 「彼らは宇宙空間で彼らを保護する特別なスーツを着ました。」とあるので、この内容を答える。

全訳

これらの写真は月面に降り立った最初の人類を示しています。1969年に3人の宇宙飛行士がアポロ11号で月へ行きました。彼らは宇宙空間で彼らを保護する特別なスーツを着ました。あなたたちは「1人の人間にとっては小さな一歩だが、人類にとっては大きな飛躍である」という有名な言葉をご存じかもしれませんね。

pp.80~81

びたトレ3

- 1 (1)○ (2)○ (3)○
- 2 (1)ア (2)ア (3)ア
- 3 (1)musician who[that] wrote (2)stamps which[that] he, collected (3)book you borrowed
- 4 (1)He has several pictures which were painted by
(2)The color that she likes the best is
(3)How was the movie you watched
- 5 (1)the city that I live in
(2)show you several pictures my father has taken since (3)which (4)イ (5)ウ
- 6 (1)I have two brothers who like swimming.
(2)Is there anything I can do for you?
(3)How was your summer vacation?

考え方

- 1 (1)「ドイツ人の」「ユダヤ人の」(2)「前夜、前日」「～を受け取る」(3)「写真」「showの過去分詞形」
- 2 (1)最初の音節を強く読む。(2)最初の音節を強く読む。(3)最初の音節を強く読む。
- 3 (1)「この歌を書いた音楽家」を主格の関係代名詞を使って表す。先行詞が「人」なので関係代名詞はwhoまたはthatを使う。(2)「彼が子どものときから集めてきた切手」を目的格の関係代名詞を使って表す。先行詞が「もの」なので関係代名詞はwhichまたはthatを使う。(3)「あなたが図書館から借りた本」は目的格の関係代名詞を使って表すことができるが、空所の数からこれを省略した形にする。the bookの直後にyou borrowedを続ける。
- 4 (1)「有名な芸術家によってかかれた数枚の絵」を主格の関係代名詞whichを使って表す。several picturesを先行詞とする。(2)「彼女がいちばん好きな色」を目的格の関係代名

詞 that を使って表す。the color を先行詞とする。(3)「～はどうでしたか」と相手に感想をたずねるときは、How was ~? を使う。「あなたが昨日見た映画」は目的格の関係代名詞を省略した形で表し、the movie の後ろに you watched yesterday を置く。

- 5 (1)「私が住んでいる市」を目的格の関係代名詞 that を使って表す。the city を先行詞とする。(2)まず Let me の後ろに動詞の原形の show を置いて <let + 人(目的語) + 動詞の原形> の形にする。show 以降は <show + A(目的語) + B(目的語)> の形にして A に you を置き、最後に B の部分を組み立てる。残りの語句から B は目的格の関係代名詞を省略した形になると判断し、several pictures を my father has taken since ~ が後ろから修飾する形にして文を完成させる。(3)空所の前が名詞で後ろが be 動詞になっているので、主格の関係代名詞にすれば文が成立する。a temple が先行詞となるので which が適切。(4)a music festival を先行詞として、これを目的格の関係代名詞 which を使って後ろから修飾する形になるイが適切。(5)ア「ケンが高校生のときからずっと、その市の写真をとっています。」は、Let me show you several pictures my father has taken since he was a high school student. 「私の父が高校生のときからずっととってきている写真を数枚お見せしましょう。」と不一致。イ「秋に美しい花を見るために、多くの人々がその寺を訪れます。」は It has a garden which is famous for its beautiful flowers. Every year, a lot of people visit our city to see those flowers in spring. 「そこ(=寺)には美しい花で有名な庭があります。毎年、春にそれらの花を見るために多くの人々が私たちの市を訪れます。」と不一致。ウ「ケンの学校の吹奏楽部は毎年、音楽祭で演奏します。」は My school's brass band performs at the opening ceremony every year. 「私の学校の吹奏楽部は毎年、(音楽祭の)開会式で演奏します。」と一致。

全訳

こんにちは、みなさん。私の名前はケンです。私が住んでいる市についてお話しします。私の父が高校生のときからずっととってきている写

真を数枚お見せしましょう。

この写真を見てください。それは約千年前に建てられたお寺です。そこには美しい花で有名な庭があります。毎年、春にそれらの花を見るために多くの人々が私たちの市を訪れます。

別の写真を見ましょう。それは私たちの市が10月に開催している音楽祭を示しています。私の学校の吹奏楽部は毎年、開会式で演奏します。

- 6 (1)「水泳が好きな兄が2人いる」を主格の関係代名詞 who を使って表している文にする。(2)「あなたのために私ができること」を目的格の関係代名詞を省略した形で表している文にする。「～はないか」は「～はありますか」と考える。(3)「～はどうでしたか」と相手に感想をたずねる How was ~? の文にする。

英作文の採点ポイント

- 単語のつづりが正しい。(2点)
- ()内の語数で書けている。(2点)
- (1)主格の関係代名詞 who が正しく使えている。(2)目的格の関係代名詞を省略した形を正しく書けている。(3)感想をたずねる How was ~? が正しく使えている。(4点)

Unit 6 ~ Project 2

pp.82~83

びたトレ1 (Part 1)

Words & Phrases

- (1)マスコット (2)政府 (3)西洋ナシ
(4)design (5)video (6)catch

- 1** (1)イ (2)イ (3)ア
2 (1)boy riding (2)bag made
(3)girl listening
3 (1)Who is that woman taking a video(?)
(2)uses a car made in Japan
(3)Thanks to his hard work

考え方

- 1** (1)「あそこに立っているあの木」を(現在分詞(ing形)+語句)が名詞を後ろから修飾する形で表す。(2)「その国で話されている言語」を(過去分詞+語句)が名詞を後ろから修飾する形で表す。(3)「彼によってデザインされたドレス」を(過去分詞+語句)が名詞を後ろから修飾する形で表す。
2 (1)「私は自転車に乗っているあの男の子と知り合いです。」(2)「私は私の祖父によって作られたこのバッグを使っています。」(3)「私は音楽を聞いているあの女の子と知り合いです。」
3 (1)「ビデオをとっているあの女の子」を(現在分詞(ing形)+語句)が名詞を後ろから修飾する形で表す。(2)「日本製の自動車」を「日本で製造された自動車」と考え、(過去分詞+語句)が名詞を後ろから修飾する形で表す。(3)「~のおかげで」はthanks to ~で表す。

pp.84~85

びたトレ1 (Part 2)

Words & Phrases

- (1)創作者 (2)魔法の (3)どこへでも
(4)医療の (5)knew (6)ticket (7)rich
(8)move to

- 1** (1)イ (2)イ (3)イ
2 (1)If, knew, could call (2)If I lived, would swim (3)If you weren't, I wouldn't say
3 (1)If you were my brother, I would be
(2)If we had a lot of time, we could play
(3)is famous for its beautiful garden

考え方

- 1** (1)現実とはちがうことを表して「もし~ならば」と言う場合、if ~で使う動詞は過去形にする。(2)現実とはちがうことを表して

「もし~ならば」と言うときに、if ~で使うbe動詞は過去形にするが、そのときは主語が何であってもwereを使うことが多い。(3)現実とはちがうことを表して「~できるのに」と言う場合、「~できる」は<could+動詞の原形>で表す。

- 2** (1)「もし...ならば、~できるのですが」と現実とはちがうことを述べる場合、仮定法にして<(If+主語+動詞の過去形,主語+could+動詞の原形)>で表す。(2)「もし...ならば、~だろうに[するのに]」と現実とはちがうことを述べる場合、仮定法にして<(If+主語+動詞の過去形,主語+would+動詞の原形)>で表す。(3)「もし...でないならば、~ではないだろうに[しないだろうに]」と現実とはちがうことを述べる場合は仮定法の文にする。<(If+主語+動詞の過去形,主語+would+動詞の原形)>のif ...と<(would+動詞の原形)>を否定形にする。
3 (1)()にある動詞・助動詞がwereやwouldなので、「もし...だったら、~だろうに」は現実とはちがう想像を表す仮定法の形で表す。(2)()に助動詞couldや過去形の動詞hadがあるので、「もし...ならば、~できるのですが」は現実とはちがう想像を表す仮定法の形で表す。(3)「~で有名だ」は、be famous for ~で表す。

pp.86~87

びたトレ1 (Part 3)

Words & Phrases

- (1)観光客 (2)食器洗い機 (3)feeling(s)
(4)grade(s)

- 1** (1)ア (2)ア (3)イ
2 (1)wish, could ride (2)wish, could swim
(3)wish, could play
3 (1)wish I had a guitar
(2)wish I were as tall as Bill
(3)The character was created as a hero(.)

考え方

- 1** (1)現実とはちがう願望を表して「~であればいいのに」と言う場合、I wish ~の~で使う動詞は過去形にする。(2)現実とはちがう願望を表して「~であればいいのに」と言うときに、I wish ~の~で使うbe動詞は過去形にするが、そのときは主語が何であってもwereを使うことが多い。(3)現実とはちがう願望を表して「~であればいいのに」

と言うときは、I wish ～で表す。～で使う動詞は過去形にする。

- 2 (1)「馬に乗ることができればいいのに。」(2)「彼より速く泳ぐことができればいいのに。」(3)「トランペットを吹くことができればいいのに。」
- 3 (1)()にwishや動詞の過去形のhadがあるので、「～であればいいのに」は現実とはちがう願望を表す仮定法の形で表す。(2)()にwishやbe動詞の過去形のwereがあるので、「～であればいいのに」は現実とはちがう願望を表す仮定法の形で表す。仮定法では、主語が何であってもbe動詞にwereを使うことが多い。(3)「…として～される[た]」は、受け身形の〈be動詞+過去分詞+as...〉で表す。

pp.88~89

びたトレ 1 (Read & Think)

Words & Phrases

(1)農業 (2)小さな (3)～を飾る (4)～を分析する (5)nearby (6)market (7)active (8)decide

- 1 (1)イ (2)イ (3)ア
- 2 (1)one of the longest (2)so early that (3)not only, but also
- 3 (1)one of the most interesting books (2)was so hungry that I wanted (3)He has decided to change his plan.(.)

考え方

- 1 (1)「最高の選手の1人」は〈one of the + 形容詞の最上級 + A(名詞の複数形)〉で表す。(2)「とても～なので…」はso ~ that ...で表す。(3)「～だけでなく…も」はnot only ~ but also ...で表す。
- 2 (1)「最も長い川の1つ」は〈one of the + 形容詞の最上級 + A(名詞の複数形)〉で表す。(2)「とても～なので…」はso ~ that ...で表す。～には副詞がくることもある。(3)「～だけでなく…も」はnot only ~ but also ...で表す。この文では、～と...に場所を表す副詞句が入っている。
- 3 (1)「私が読んだことのある本で最も興味深いものの1つ」は「私が読んだことのある最も興味深い本の1冊」と考え、〈one of the + 形容詞の最上級 + A(名詞の複数形)〉で表す。(2)「とても～なので…」はso ~ that ...で表す。(3)「～する決心をする」はdecide to～で表す。

pp.90~91

びたトレ 1 (Target のまとめ④)

- 1 (1)イ (2)イ (3)ア (4)イ
- 2 (1)languages which[that], used (2)boy Emma brought (3)friend studying (4)girl called
- 3 (1)have a cousin who is interested in classical music (2)works in the building that stands next to the bank (3)hold a concert that every student can take part in (4)The man holding books in his arms is

考え方

- 1 (1)「花を育てるのが好きなクラスメート」を主格の関係代名詞を使って表す。先行詞が「人」なのでwhoを使う。(2)「あなたがまた会いたい男性」を目的格の関係代名詞を使って表す。先行詞が「人」なのでthatを使う。(3)「彼女が言ったすべてのこと」を目的格の関係代名詞を省略した形で表す。all the thingsをshe saidが後ろから修飾する形になる。(4)「イタリア製のバッグ」を「イタリアで製造されたバッグ」と考え、これを〈過去分詞 + 語句〉が名詞を後ろから修飾する形で表す。
- 2 (1)「その国で使われている言語」を主格の関係代名詞を使って表す。the languages「言語」が先行詞となるので、関係代名詞はwhichまたはthatを使う。関係代名詞の直後がareなので、the languagesと複数形になることに注意。(2)「エマがパーティーに連れてきた男の子」は目的格の関係代名詞を使って表すことができるが、空所の数からこれを省略した形にする。the boyの直後にEmma broughtを続ける。(3)「イギリスに留学している友人」を〈現在分詞(ing形) + 語句〉が名詞を後ろから修飾する形で表す。(4)「ナオと呼ばれている女の子」を〈過去分詞 + 語句〉が名詞を後ろから修飾する形で表す。
- 3 (1)「クラシック音楽に興味があるいところ」を主格の関係代名詞whoを使って表す。a cousinを先行詞とする。(2)「銀行のとなりにあるビル」を主格の関係代名詞thatを使って表す。the buildingを先行詞とする。(3)「すべての生徒が参加できるコンサート」を目的格の関係代名詞thatを使って表す。a

cousinを先行詞とする。(2)「銀行のとなりにあるビル」を主格の関係代名詞thatを使って表す。the buildingを先行詞とする。(3)「すべての生徒が参加できるコンサート」を目的格の関係代名詞thatを使って表す。a concertを先行詞とする。(4)「腕に本をかかえている男の人」を〈現在分詞(ing形)+語句〉が名詞を後ろから修飾する形で表す。

pp.92~93 びたトレ 1 (Target のまとめ⑤)

- 1 (1)ア (2)イ (3)イ (4)ア
 2 (1)If, knew, would help (2)If, were, could not (3)wish, had (4)wish, could swim
 3 (1)If he were here, we could ask
 (2)I wish there were no wars in the world(.)
 (3)wish I could read books written in English

考え方

- 1 (1)現実とはちがうことを表して「(もし)~なら(ば)」と言うときに, if ~で使うbe動詞は過去形にするが, そのときは主語が何であつてもwereを使うことが多い。(2)現実とはちがうことを表して「(もし)~なら(ば)」と言う場合, if ~で使う動詞は過去形にする。(3)現実とはちがう願望を表して「~であればいいのに」と言うときは, I wish ~で表す。~で使う動詞は過去形にする。(4)現実とはちがう願望を表して「~できればいいのに」と言うときは, I wish ~で表す。「~できる」は〈could+動詞の原形〉で表す。
 2 (1)「(もし)~ならば, ~だろうに」と現実とはちがうことを述べる場合, 仮定法にして〈If+主語+動詞の過去形, 主語+would+動詞の原形〉で表す。(2)「(もし)~でないならば, ~できないだろう」と現実とはちがうことを述べるときは仮定法の文にする。〈If+主語+動詞の過去形, 主語+could+動詞の原形〉のif ...と〈could+動詞の原形〉を否定形にする。(3)「~であればいいのに」と現実とはちがう願望を述べる場合, 仮定法にして〈I wish+主語+動詞の過去形〉で表す。(4)「~できればいいのに」と現実とはちがう願望を述べる場合, 仮定法にして〈I wish+主語+could+動詞の原形〉で表す。
 3 (1)()にある動詞・助動詞がwereやcouldなので, 「もし~ならば, ~できるのに」は

現実とはちがう想像を表す仮定法の形で表す。仮定法では, 主語が何であってもbe動詞にwereを使うことが多い。(2)()にI, wishと過去形のwereがあるので, 「~であればいいのに」は現実とはちがう願望を表す仮定法の形で表す。(3)()にwishとcouldがあるので, 「~できればいいのに」は現実とはちがう願望を表す仮定法の形で表す。

p.94 びたトレ 1 (Let's Talk 6)

Words & Phrases

- (1)空港 (2)料金 (3)recommend
 (4)Let, see
 1 (1)How long, 20 minutes (2)How much, It's 640 yen
 2 (1)How long does it take to get there(?)
 (2)I recommend the subway.

考え方

- 1 (1)たずねる文にあるtakeは「(時間が)かかる」の意味なので, 所要時間をたずねるHow long does it take to get to ~?の疑問文にする。たずねる文にby subway「地下鉄で」とあり, 図から地下鉄で約20分とわかるので, 答える文をIt takes about 20 minutes.とする。(2)たずねる文にあるfareは「料金」の意味なので, 値段をたずねるHow muchで始まる疑問文にする。たずねる文にthe bus fare「バス料金」とあり, 図からバスで640円とわかるので, 答える文をIt's 640 yen.とする。
 2 (1)「そこへ着くのにどのくらい(時間が)かりますか」は, How long does it take to get to ~?のget to ~をget thereとして表す。(2)「~がおすすめです」はI recommend ~.で表す。

p.95 びたトレ 1 (Project 2)

- 1 (1)is held in (2)festival for (3)pray for
 1 (1)「~は...に行われます」は~ is held in ...で表す。「3月に」なのでinを使う。(2)「~は...のためのお祭りです」は~ is a festival for ...で表す。(3)「~を祈る」はpray for ~で表す。

pp.96~97 びたトレ 2

- 1 (1)ウ (2)エ (3)イ (4)イ
 2 (1)mountains covered (2)friend living

(3)If, had, could buy (4)wish, could fly

- ◆3 (1)I have an uncle working abroad.
(2)He showed me some pictures taken by his father.
(3)If Mary knew John's phone number, she could call him.
(4)How long does it take to get to the museum?

◆4 (1)famous (2)know a lot about it (3)そこに住んでいるならば、毎日それらを見るでしょう

◆5 (1)It was created in Sapporo. (2)They enjoy soup curry.

考え方

◆1 (1)「ギターをひいているあの女の子はだれですか。」(2)「私は英語で書かれた本を読んでいます。」(3)「もし晴れているならば、私は釣りに行くのに。」(4)「彼のように歌うことができればいいのに。」

◆2 (1)「あの雪に覆われた山々」を〈過去分詞+語句〉が名詞を後ろから修飾する形で表す。(2)「オーストラリアに住んでいる友人」を〈現在分詞(ing形)+語句〉が名詞を後ろから修飾する形で表す。(3)「もし…ならば、～できるのに[できるのですが]」と現実とはちがうことを述べる場合、仮定法にして〈If+主語+動詞の過去形, 主語+could+動詞の原形〉で表す。(4)「～できればいいのに」と現実とはちがう願望を述べる場合、仮定法にして〈I wish+主語+could+動詞の原形〉で表す。

◆3 (1)an uncle「おじ」が「働いている(works)」という関係なので、〈現在分詞(ing形)+語句〉が名詞を後ろから修飾する形を含む文にする。worksをworkingに置きかえる。書きかえた文の意味は「私には外国で働いているおじがいます。」となる。(2)some pictures「何枚かの写真」が「とられた(were taken)」という関係なので、〈過去分詞+語句〉が名詞を後ろから修飾する形を含む文にする。書きかえた文の意味は「彼は彼の父によってとられた何枚かの写真を私に見せました。」となる。(3)元の文は「メアリーはジョンの電話番号を知らないのに、彼に電話することができません。」という意味。これを「もし…を知っていたら、～できるのに」という現実とはちがう内容に書きかえるので、仮定法にして〈If+主語+動詞の

過去形, 主語+could+動詞の原形〉で表す。書きかえた文の意味は「もしメアリーがジョンの電話番号を知っていれば、彼に電話することができるのに。」となる。(4)元の文の意味が「博物館に行くのに約40分かかります。」で、下線部が所要時間を表しているのに、所要時間をたずねるHow long does it take to get to ~?の形にする。書きかえた文の意味は「博物館に行くのにどのくらいかかりますか。」となる。

◆4 (1)「～で有名だ」はbe famous for ~で表す。(2)「～についてよく知っている」はknow a lot about ~で表す。(3)If ~の動詞が過去形で、文の後半で(would+動詞の原形)が使われているので、仮定法の文だとわかる。

全訳

ソラ：ぼくは先週、鳥取の境港を訪れたよ。
チェン：ああ、境港は水木しげるロードで有名なだね。水木しげるは『ゲゲゲの鬼太郎』の作者だよ。

ソラ：わあ、きみはそれについてよく知っているね。ぼくは日本の怪物の妖怪の像をたくさん見たよ。

チェン：妖怪が大好きなんだ。もしぼくがそこに住んでいるならば、毎日それらを見るんだけどなあ。

◆5 (1)質問文の意味は「スープカレーはどこで作り出されましたか。」で、It was created as a local food of Sapporo.「それ(=スープカレー)は札幌の地元の料理として作り出されました。」とあるので、これをもとに答える。(2)質問文の意味は「札幌を訪れたときに、多くの観光客は何をしますか。」で、Many visitors visit Sapporo and enjoy soup curry.「多くの観光客が札幌を訪れてスープカレーを楽しみます。」とあるので、これをもとに答える。

全訳

あなたたちは今までにスープカレーを食べたことがありますか。それは札幌の地元の料理として作り出されました。その後、それは日本中や海外で有名になりました。多くの観光客が札幌を訪れてスープカレーを楽しみます。私もスープカレーがとても好きです。毎日それを食べるのができたならなあと思います。

- ② (1)ア (2)イ (3)ア
 ③ (1)woman sitting (2)wish, didn't know
 (3)How much, fare
 ④ (1)that cat sleeping
 (2)camera made in
 (3)If, could make
 ⑤ (1)spoken (2)a bridge built about two
 hundred years (3)イ (4)How long,
 take to (5)wish we could
 ⑥ (1)My brother is the boy using a
 computer.
 (2)I wish you were my teammate.
 (3)How long does it take to get to the
 library?

考え方

- ① (1)「ビデオ」「商売」(2)「成績」「活発な」
 (3)「すぐ近くの」「心」
 ② (1)最初の音節を強く読む。(2)2番目の音節
 を強く読む。(3)最初の音節を強く読む。
 ③ (1)「アキのとなりに座っている女性」を(現在
 分詞(ing形)+語句)が名詞を後ろから修飾
 する形で表す。(2)「～でなければいいのに」
 と現実とはちがう願望を述べる場合、仮定
 法にして(I wish+主語+動詞の過去形)で
 表す。「～でなければ」なのでwishの後ろの
 部分を否定形にする。(3)目的地へ行くのに
 かかる費用について「～までの乗車料金はい
 くらですか」とたずねるときは、How much
 is the fare to ~?を使う。
 ④ (1)that cat「あのネコ」が「眠っている(is
 sleeping)」という関係なので、(現在分詞
 (ing形)+語句)が名詞を後ろから修飾する
 形を含む文にする。書きかえた文の意味は
 「ソファで眠っているあのネコを見なさい。」
 となる。(2)a camera「カメラ」が「製造さ
 れた(was made)」という関係なので、(過
 去分詞+語句)が名詞を後ろから修飾する形
 を含む文にする。書きかえた文の意味は「そ
 の男性は日本製のカメラを買いました。」と
 なる。(3)元の文は「私はすぐれた料理人では
 ないので、たくさんの人々を幸福な気持ちに
 させることができません。」という意味。
 書きかえる文にI were ~とあるので、「もし…
 ならば、～できるのに」という現実とはち
 がう内容の仮定法の文にして、(If+主語
 +動詞の過去形, 主語+could+動詞の原

形)の形にする。書きかえた文の意味は「もし
 私がすぐれた料理人ならば、たくさんの人
 々を幸福な気持ちにさせることができるの
 に。」となる。

- ⑤ (1)the language「言語」とspeak「～を
 話す」の関係の考えると、動詞speakを過
 去分詞形にしてthe language spoken here
 「ここで話されている言語」とすると、意
 味の通る英文となる。(2)()にあるbridge
 とbuiltには「橋(a bridge)が建設された
 (built)」という関係が成り立つので、(過
 去分詞+語句)が名詞を後ろから修飾する形
 に文を組み立てればよい。(3)look forward
 to ~で「～を楽しみにしている」の意味に
 なる。～には名詞に相当する語句が入るので、
 動詞のing形(動名詞)のイが適切。(4)下
 線部④の文が疑問文で、その直後でAbout
 eight hours.「約8時間です。」と答えてい
 るので、所要時間をたずねるHow long
 does it take to get here ~?の形にする。
 (5)「～できればいいのに」は、現実とはち
 がう願望を述べる仮定法の(I wish+主語+
 could+動詞の原形)で表す。

全訳

- ナンシー：元気？
 ベス：とてもいい調子よ。旅行は毎日楽しく過
 ぎしてるよ。ここで話されてる言語はス
 ペイン語だけど、たくさんの人が英語も
 話すのよ。
 ナンシー：本当？ それは知らなかったわ。
 ベス：私たち昨日はとても古い都市を訪れたの
 よ。そこはある有名な芸術家の故郷だっ
 たの。彼は約200年前に建設された橋を
 絵にかいたの。
 ナンシー：あなたたちといっしょだったらなあ。
 今週末にあなたと会うのが楽しみよ。
 明日そっちを出発する予定だね？
 ベス：そうよ。
 ナンシー：飛行機でこっちに着くまでどのくら
 いかかるの？
 ベス：約8時間よ。まだ家に帰りたくないよ。
 私たちがもっとずっと長くここにいられ
 ればいいのになあ。
 ⑥ (1)「コンピューターを使っている少年」を(現
 在分詞(ing形)+語句)が名詞を後ろから修
 飾する形で表している文にする。(2)「～で
 あればいいのに」を、現実とはちがう願望を

述べる仮定法の〈I wish + 主語 + 動詞の過去形〉の形で表している文にする。仮定法では、be 動詞の過去形は主語が何であっても were を使うことが多い。(3)「～に行くのにどのくらいかかりますか」と相手に所要時間をたずねる How long does it take to get to ~? の文にする。

英作文の採点ポイント

- 単語のつづりが正しい。(2点)
- (1)〈現在分詞(ing形) + 語句〉が名詞を後ろから修飾する形が正しく使えている。(2)仮定法の〈I wish + 主語 + 動詞の過去形〉が正しく使えている。(3)所要時間をたずねる How long does it take to get to ~? が正しく使えている。(6点)

Further Study ①

p.100

びたトレ 1

- 1 (1)agree with (2)may, true (3)How about

考え方

- 1 (1)「私はあなたに賛成です。」は、I agree with you. で表す。(2)「その通りかもしれませんが、私は～だとは思いません。」は、That may be true, but I don't think ~. で表す。(3)相手に意見を求めて「あなたはどうですか。」と質問するときは、How about you? とたずねる。

Further Study ②

p.101

びたトレ 1

- 1 (1)My best memory (2)happy to
(3)never forget

考え方

- 1 (1)「私のいちばんの思い出は～です。」は、My best memory is ~. で表す。(2)「私は～して(とても)うれしかったです。」は、I was (very) happy to ~. で表す。to の後ろには動詞の原形がくる。(3)「私は～を決して忘れないでしょう。」は、I'll never forget ~. で表す。

Let's Read ①

p.102

びたトレ 1 (The Last Leaf (1))

- 1 (1) was walking (2) can be seen
2 (1) I was eating lunch when Mike
(2) The music festival will be held in

考え方

- 1 (1)「(私が) 駅へ歩いていっている」は、過去進行形の〈was + 動詞のing形〉で表す。(2)「見られます」は、助動詞と受け身形が合わさった形の〈can be + 過去分詞〉で表す。canの後ろにはbe動詞の原形のbeが入る。
2 (1)「私は昼食を食べていました」を過去進行形の〈was + 動詞のing形〉で表す。「マイクが電話をかけてきたとき」はwhen ~で表し、文の後半に置く。このwhenは「~する[した]とき」の意味の接続詞。(2)「開催される予定です」を、助動詞と受け身形が合わさった形の〈will be + 過去分詞〉で表す。

p.103

びたトレ 1 (The Last Leaf (2))

- 1 (1) asked, to join (2) has been
2 (1) Steve asked me to show him
(2) The hot weather has lasted for more than

考え方

- 1 (1)「人に~するように頼みました」は〈ask + 人(目的語) + to + 動詞の原形〉で表す。(2)「ずっといそがしいです」は、現在完了形の継続用法の〈have[has] + 過去分詞〉で表す。主語が3人称単数なのでhasを使う。be動詞の過去分詞形はbeen。
2 (1)「人に~するように頼みました」を〈ask + 人(目的語) + to + 動詞の原形〉で表す。(2)「ずっと続いています」を、現在完了形の継続用法の〈has + 過去分詞〉で表す。「2か月以上」はfor more than two months。

p.104

びたトレ 1 (The Last Leaf (3))

- 1 (1) When I was a child, I wanted to be a professional tennis player.
(2) I wonder what Alex wanted to do.
2 (1) Donna was making sandwiches when Emma called
(2) I wonder why Bill didn't come.(.)

考え方

- 1 (1)「私が子どもだったとき」は、「~する[した]とき」の意味を表す接続詞whenを使っ

て表す。when ~が文の前半になるときは、それと中心となる文の間に「,(コンマ)」が必要となる。書きかえた文の意味は「子どもだったとき、私はプロのテニス選手になりたいと思っていました。」となる。(2)疑問詞で始まる疑問文を間接疑問文にしてwonderの目的語にする。did Alex want to doをAlex wanted to doという肯定文と同じ語順にする。書きかえた文の意味は「アレックスは何をしたかったのだろうと私は思います。」となる。

- 2 (1)「エマが(彼女に)電話をかけたとき」を、「~する[した]とき」の意味を表す接続詞whenを使って表す。文末がドナを指すher「彼女に」なので、when ~が文の後半になる。(2)「ビルがどうして来なかったのだろうか」を間接疑問文として、wonderの目的語にする。whyの後ろを否定文と同じ語順にする。

pp.105~106

びたトレ 2

- 1 (1) 工 (2) 工 (3) ウ (4) 工
2 (1) asked, to play (2) has stood here for
(3) when she heard (4) wonder when the festival will
3 (1) The cats were sleeping on the sofa.
(2) These wild animals must be protected.
(3) Ken asked Emma to give him a hint.
(4) Mike wondered how old Mr. Bell was.
4 (1) asked Sue to raise the window shade
(2) I've been a bad girl (3) how stupid I was
5 (1) Eight sports were played.
(2) They received bronze medals.

考え方

- 1 (1)「その試合が始まったときは、雨が降っていました。」(2)「この市ではたくさんの石橋が見つかります。」(3)「その市は1964年からずっと芸術祭を開催しています。」(4)「私がドアを開けたとき、私のネコが部屋から走り出しました。」
2 (1)「人に~するように頼みました」は〈ask + 人(目的語) + to + 動詞の原形〉で表す。(2)「ずっと立っています」は現在完了形の継続用法の〈have[has] + 過去分詞〉で表す。主語が3人称単数なのでhasを使う。「立つ」を表すstandの過去分詞形はstood。(3)「そ

の知らせを聞いたときに」は、「～する[した]とき」の意味を表す接続詞whenを使って表す。when～の主語はEmilyを指すsheにする。(4)「～だろうかと思う」は動詞wonderで表し、「その祭りがいつ終わる予定なのだろうか」は間接疑問文で表してwonderの目的語とする。疑問詞の後ろは肯定文と同じ語順にする。

- 3 (1)「ソファの上で眠っていました」なので、過去進行形の〈was[were]+動詞のing形〉の文にする。主語が複数形なのでwereを使う。(2)「保護されなければなりません」なので、助動詞と受け身形が合わさった形の〈must be+過去分詞〉の文にする。(3)「エマに彼にヒントをくれるように頼みました」なので、〈ask+人(目的語)+to+動詞の原形〉の文にする。「彼にヒントをくれる」はgive a hint to himでも表せるが、これでは指定語数に取まらないのでgive him a hintとする。(4)「～だろうかと思う」は動詞wonderで表し、「ベルさんが何歳なのだろうか」は間接疑問文で表してwonderedの目的語とする。文全体の動詞が過去形のwonderedとなるので、間接疑問文のbe動詞も過去形のwasとなる。

- 4 (1) ()にaskedとtoと動詞の原形のraiseがあるので、〈ask+人(目的語)+to+動詞の原形〉の文にする。(2)「私はずっと悪い女の子です」は現在完了形の継続用法の〈have+過去分詞〉で表す。5語になるようにI haveはI'veに短縮する。(3)「私がどれほど愚かだったか」を間接疑問文として、〈show+A(目的語)+B(目的語)〉のBにする。how stupidの後ろを肯定文と同じ語順にする。

全訳

十分に明るくなったとき、ジョンジーはスーに窓のブラインドを上げるように頼みました。

驚いたことに、最後の1枚の葉はまだそこにありました。

ジョンジーは長い間それを見ていました。

「私はずっと悪い女の子だったわ、スー」とジョンジーは言いました。「最後の1枚の葉はまだそこにあるわ。そのことは私がどれほど愚かだったか私に示しているのね。死にたいと思うのは悪いことね。何か食べるようにしてみるわ。」

- 5 (1)質問文の意味は「第1回近代オリンピック大会ではいくつの競技が行われましたか。」で、Eight sports such as track and field, swimming, and tennis were played.「陸上競技や水泳、テニスなど8つの競技が行われました。」とあるので、これをもとに答える。(2)質問文の意味は「2位になった選手たちは1896年に何を受け取りましたか。」で、Second place winners received bronze ones.「2位を勝ち取った人たちは銅のもの(=銅メダル)を受け取りました。」とあるので、これをもとに答える。

全訳

これは第1回近代オリンピック大会を示している写真です。それは1896年にギリシャで開催されました。14か国からの男性の選手たちだけがそれに参加しました。陸上競技や水泳、テニスなど8つの競技が行われました。1位を勝ち取った選手たちは銀メダルを受け取りました。2位を勝ち取った人たちは銅メダルを受け取りました。3位を勝ち取った人たちはメダルをもらいませんでした。

Let's Read ②

p.107 びたトレ 1 (Origami Ambassador (1))

- 1 (1)songs loved (2)was, for me to
2 (1)I have an aunt living in Australia(.)
(2)It will be impossible for him to break

考え方

- 1 (1)「多くの人に愛されている歌を何曲か」は、〈過去分詞+語句〉が名詞を後ろから修飾する形で表す。(2)「私が…するのは簡単でした」は、〈It is ~ for A to+動詞の原形...〉のisを過去形のwasにして表す。
2 (1)「オーストラリアに住んでいるおば」を〈現在分詞(ing形)+語句〉が名詞を後ろから修飾する形で表す。(2)「彼が…するのは不可能でしょう」を、〈It is ~ for A to+動詞の原形...〉のisを未来形のwill beにした形で表す。

p.108 びたトレ 1 (Origami Ambassador (2))

- 1 (1)to hide (2)where to take
2 (1)practice harder to win the next game
(2)asked Bill how to set up a tent

考え方

- 1 (1)「本当の気持ちを隠すために」は目的を表す不定詞(〈to+動詞の原形〉)の副詞的用法で表す。(2)「彼女をどこへ連れて行けばいいか」は〈where to+動詞の原形〉で表し、〈tell+A(目的語)+B(目的語)〉のBとする。
2 (1)「次の試合に勝つために」を目的を表す不定詞(〈to+動詞の原形〉)の副詞的用法で表す。「もっと熱心に練習する」はpractice harder。(2)「テントの張り方」を〈how to+動詞の原形〉で表し、〈ask+A(目的語)+B(目的語)〉のBとする。「人」を表すBillはAの位置に置く。

p.109 びたトレ 1 (Origami Ambassador (3))

- 1 (1)for inviting (2)have been loved
2 (1)did my homework after taking a bath
(2)The drama festival has been held since

考え方

- 1 (1)「～して下さってありがとうございます」は、Thank you for ~ingで表す。forの後ろを動名詞(動詞のing形)にする。(2)「ずっと愛されています」は、現在完了形と受け身形が合わさった形の〈have[has] been+過去分詞〉で表す。主語が複数なの

でhaveにする。この文の現在完了形は継続用法。

- 2 (1)まず「私は宿題をやりました」をI did my homeworkとし、「入浴したあとに」は〈前置詞+動名詞(動詞のing形)〉のafter taking a bathで表す。(2)「ずっと開催されています」を、現在完了形と受け身形が合わさった形の〈has been+過去分詞〉で表す。この文の現在完了形は継続用法。「1972年から」はsince 1972。

p.110 びたトレ 1 (Origami Ambassador (4))

- 1 (1)I know a student who can play the piano very well.
(2)All the leaves have fallen from the tree.
2 (1)have an uncle who has been to Malaysia
(2)She has become a great scientist(.)

考え方

- 1 (1)a studentと2文目のsheが同じ人物でa studentがcan playの主語なので、2つの文を主格の関係代名詞whoでつなぐ。書きかえた文の意味は「私はピアノをととても上手にひくことができる1人の生徒と知り合いです。」となる。(2)元の文は「その木からすべての葉が落ちて、それには葉が1枚もありません。」という意味。「～してしまいました(そしてその結果が現在も残っています)」という意味を、現在完了形の完了用法で表すことができる。書きかえた文の意味は「その木からすべての葉が落ちてしまいました。」となる。
2 (1)「マレーシアに行ったことのあるおじ」を、主格の関係代名詞whoを使って表す。an uncleを先行詞とする。(2)「偉大な科学者になりました」なので、現在完了形の完了用法の文にする。

pp.111~112

びたトレ 2

- 1 (1)イ (2)エ (3)ウ (4)エ
2 (1)will be, to (2)show, how to do (3)has been translated (4)student who[that] moved
3 (1)It was important for her to get good grades.
(2)She taught me how to ride a horse.

(3)He has a cousin who can speak Spanish.

(4)They have returned to Japan from Canada.

◆4 (1)called (2)how to fold (3)this origami fox has been called

◆5 (1)They were surprised and very pleased.

(2)They made paper planes.

考え方

◆1 (1)「彼は世界中で尊敬されている日本人の芸術家です。」(2)「彼らは家を買うためにたくさんのお金を貯めました。」(3)「彼らはたくさんのお金を植えることで野生動物を守ろうとしました。」(4)「この国では3つの言語がずっと使われています。」

◆2 (1)「彼らが…することが必要となるでしょう」は、〈It is ~ for A to + 動詞の原形...〉のisを未来形のwill beにした形で表す。(2)「そのやり方」を〈how to + 動詞の原形〉で表し、〈show + A(目的語) + B(目的語)〉のBとする。(3)「翻訳されてきています」は、現在完了形と受け身形が合わさった形の〈have[has] been + 過去分詞〉で表す。主語が3人称単数なのでhasにする。この文の現在完了形は継続用法。(4)「この市に先月引っ越してきた生徒」は主格の関係代名詞を使って表す。the student「生徒」が先行詞となるので、関係代名詞はwhoまたはthatを使う。

◆3 (1)「彼女が…することが重要でした」なので、〈It is ~ for A to + 動詞の原形...〉のisを過去形のwasにした文にする。「彼女」は目的格のherにする。(2)「私に乗馬のやり方を教えてくださいました」なので、「乗馬のやり方」を〈how to + 動詞の原形〉で表して〈teach + A(目的語) + B(目的語)〉のBとした形の文にする。(3)「スペイン語を話せるところが1人」を、主格の関係代名詞whoを使って表した文にする。(4)「日本へもどってきました」を、現在完了形の完了用法で表す。主語が複数なので〈have + 過去分詞〉にする。have returned to Japanには「(日本にもどってきて)現在日本にいる」という意味が含まれている。

◆4 (1)a boy「男の子」とcall「~を…と呼ぶ」の関係を考えて、動詞callを過去分詞形にしてa boy called Alex「アレックスと呼ば

れている男の子」とすると、意味の通る英文となる。(2)「キツネの折り方」は、〈疑問詞 + to + 動詞の原形〉のhow to ~で表す。

(3)()にhasとbeenと過去分詞のcalledがあるので、現在完了形と受け身形が合わさった形の〈has been + 過去分詞〉の文にする。

全訳

1981年にボストンを訪れたとき、彼はアレックスと呼ばれている男の子に会いました。彼には指がありませんでした。加瀬さんは彼にキツネの折り方を教えました。それは折るのが簡単だったのです。アレックスは手首とひじを使ってそれを作りました。そのキツネを作り終えたとき、彼はそれを「ハローフォックス」と呼びました。それ以来、この折り紙のキツネはずっと「ハローフォックス」と呼ばれています。

◆5 (1)質問文の意味は「加瀬さんがたくさん折り紙を折り始めたとき、子どもたちはどのようなでしたか。」で、Kase soon took out origami paper and folded a lot of origami. The children were surprised and very pleased.「加瀬さんはすぐに折り紙を取り出して、たくさん折り紙を折りました。子どもたちは驚き、そしてとても喜びました。」とあるので、これをもとに答える。(2)質問文の意味は「授業の最後に子どもたちは何を作りましたか。」で、At the end of the class, the children made paper planes and flew them together. 「授業の最後に、子どもたちは紙飛行機を作っていっしょにそれらを飛ばしました。」とあるので、これをもとに答える。

全訳

ある日、加瀬三郎さんはベトナム人の子どもたちに折り紙を教えるために、あるセンターを訪れました。最初に彼が部屋に入ったとき、子どもたちは彼をこわがってずっと黙っていました。

加瀬さんはすぐに折り紙を取り出して、たくさん折り紙を折りました。子どもたちは驚き、そしてとても喜びました。彼は彼らに折り紙の折り方を教え始めました。授業の最後に、子どもたちは紙飛行機を作っていっしょにそれらを飛ばしました。加瀬さんは彼らが平和に生きることができるようになりました。

定期テスト予想問題

〈解答〉 pp.114~123

pp.114~115

予想問題 1

出題傾向

*現在完了形の継続用法の for と since, 完了用法の already と yet や just の使い分けと文中での位置がポイント。特に yet は否定文と疑問文で意味が異なることをおさえておく。

- 1) 人々は何百年もの間ずっとコーヒーを飲んで
います。
(2) has been an important part of European
culture since
(3) ウ (4) has become (5) イ
- 2) (1) How many times have you ridden a
horse(?) (2) Sam has already returned
home from school.(.) (3) haven't been
able to go fishing for about a month
(4) Would you like another piece of pie(?)
- 3) (1) Donna has been to New Zealand four
times.
(2) I have not[haven't] written the answers
yet.
(3) How long have they been growing
grapes and peaches?
- 4) (1) I have[I've] wanted to go to Africa
since I was a child.
(2) My favorite food is pizza.

考え方

- 1) (1) have been drinking という〈have been + 動詞の ing 形〉の形は現在完了進行形で、「ずっと～している」の意味を表す。(2) has, been や since があるので、現在完了形の継続用法の文にする。文末の the seventeenth century の直前に since がくるようにする。(3) 与えられた文は「コーヒーは17世紀に初めて日本にもたらされました。」という意味。コーヒーと日本については3段落目で述べられていて、そこに「日本で最初のコーヒー店は1888年に開店しましたが、…」とあるので、その文の直前に入るウに入れると話の流れに合う。(4) これまでの話の流れから、「日本人の生活の重要な一部分になった(そして今もそうである)」という意味になると

考えられるので、現在完了形の完了用法の文にする。become の過去分詞形は become。(5) イが2段落目の4文目と一致している。アは2段落目の最後の文と、ウは3段落目の2文目とそれぞれ不一致。

全訳

コーヒーは好きですか。コーヒーは世界で最も人気のある飲み物の一つです。

人々は何百年もの間ずっとコーヒーを飲んで
います。多くの人がコーヒーを飲むことは15
世紀に始まったと考えています。16世紀には
コーヒーはイスラム教徒の間で人気がありまし
た。それはイスラム世界からヨーロッパへもた
らされて、17世紀以後はずっとヨーロッパ文
化の重要な一部分となっています。現在では
コーヒーは、ブラジル、ベトナム、インドネシ
ア、メキシコやケニアなど、多くの国で栽培さ
れています。

コーヒーは17世紀に初めて日本にもたらさ
れました。日本で最初のコーヒー店は1888年
に開店しましたが、20世紀半ばまでコーヒー
は緑茶ほどの人気はありませんでした。しかし、
最近の50年間にコーヒーは日本人の生活の重
要な一部分になりました。

- 2) (1) 「何回～したことがありますか」なので、
回数をたずねる現在完了形の経験用法の疑
問文にする。「何回」を表す How many
times で始め、その後ろを疑問文の語順に
する。(2) 「もう～しています」は現在完了形
の完了用法で表す。「もう」を表す already
は has と過去分詞形の間に置く。(3) 「約 1
か月間～できていません」は現在完了形の継
続用法の否定文で表す。(4) 「～をいかがで
すか」と人にすすめるときは、Would you
like ~? で表す。
- 3) (1) 元の文は過去形で、これを現在完了形の
経験用法の文にする。「行ったことがある」
なので has been to ~ の形にする。(2) 元
の文は過去形で、これを現在完了形の完了
用法の否定文にする。write の過去分詞形
は written。「まだ」は否定文では yet で表し、
文末に置く。(3) 「どのくらいの間～してい
ますか」は、現在完了の継続用法か現在完了
進行形のどちらでも表せる場合があるが、
ここでは指定の語数に合うように現在完了
進行形で表す。How long で始め、その後
ろを疑問文の語順にする。

- 4 (1)「ずっと～したいと思っている」なので、現在完了形の継続用法の文にする。「ずっと～に行きたいと思っている」はhave wanted to go to ～と表す。「～のときから」はsince。(2)「私の好きな食べ物」はmy favorite foodと表し、これを主語とする。

英作文の採点ポイント

- 単語のつづりが正しい。(2点)
- (1)現在完了形の継続用法が正しく使えている。(7点) (2)「私の好きな食べ物」を正しく表せている。(7点)

pp.116~117

予想問題 2

出題傾向

＊間接疑問文は並べかえや英作文で出題されることが多い。〈疑問詞 + to + 動詞の原形〉はどの意味でどの疑問詞を使うかを押さえておく。

- 1 (1)how quickly penguins move in the water
(2)エ (3)a 翼 b 役割 c 方向 d 足
(4)のどがかわいたときに海水を飲む (5)イ
- 2 (1)where he decided to (2)how much money he needed (3)know what to write (4)was shocked to hear
- 3 (1)how to (2)Take (3)change to (4)Get off
- 4 (1)I don't know what will happen tomorrow.
(2)Tell me when to get up tomorrow morning.

考え方

- 1 (1)疑問詞 how や〈主語 + 動詞〉となる penguins と move があり、その部分が have learned の目的語となるので、間接疑問文とする。how quickly のあとに penguins move ... と続くようにする。(2)直前の文が「ペンギンには翼がありますが、飛ぶことができません。」という意味なので、「なぜ彼ら(ペンギン)には翼が必要なのか」の意味の工が話の流れに合う。(3)ペンギンが水中をどのように動き回るかについては2段落目で述べられていて、4文目に「その翼が泳ぐときに重要な役割を果たします。」、9文目に「彼らは水中で方向を変えるために足を使います。」とあるので、これらを参考にまとめればよい。(4)do that は直前の文の drink sea water when they are thirsty のこと

を指している。(5)イが2段落目の7文目と一致していない。アは2段落目の3・6文目と、ウは3段落目の3文目と一致している。

全訳

私は先月、水族館へ行きました。ペンギンたちがとても速く泳いでいて、私はそれを見て驚きました。私はペンギンが水中でどれだけ速く動くかということ学びました。

ペンギンには翼がありますが、飛ぶことができません。なぜ彼らには翼が必要なのだろうと思う人もいるかもしれません。ペンギンは食べ物を探すために海中を泳ぎます。その翼が泳ぐときに重要な役割を果たします。彼らは水中をすばやく簡単に動くことができます。このことが彼らが魚やイカなどをつかまえることを可能にしています。ペンギンは人類最速の水泳選手よりもはるかに速く泳ぎます。その短い脚と大きな足もまた泳ぐのに役立ちます。彼らは水中で方向を変えるために足を使います。

ペンギンはのどがかわいたときに海水を飲みます。どうして彼らにはこんなことができるのか知っていますか。体から塩分を排出することができるので、それが彼らの健康に害とならないのです。

- 2 (1)「彼がどこに家を建てようと思ったか」を間接疑問文として、know の目的語にする。where の後ろを肯定文と同じ語順にする。(2)「(彼が)新しいバッグを買うのにいくらのお金が必要か」を間接疑問文として、〈tell + A(目的語) + B(目的語)〉のBにする。「いくらのお金」はhow much money とし、その後ろを肯定文と同じ語順にする。(3)「何について書けばよいのか」を〈what to + 動詞の原形〉で表し、know の目的語とする。(4)「～して…でした」は、感情の原因を表す副詞的用法の不定詞(〈to + 動詞の原形〉)を使って〈be 動詞 + 形容詞 + to + 動詞の原形〉とする。
- 3 (1)「サウスリバー植物園」への行き方をたずねていると考えられるので、how to を補う。「サウスリバー植物園への行き方を教えてくださいませんか。」という意味の文になる。(2)地図から、レインボータワー駅までフォレスト線に乗るとわかるので、Take を補う。「レインボータワーまでフォレスト線にお乗りください。」という意味の文になる。(3)レインボータワー駅でイーストレーク線に

乗りかえるので、change toを補う。「レインボータワーでイーストレーク線にお乗りかえください。」という意味の文になる。
 (4)フェニックス公園駅で降りるので、Get offを補う。「フェニックス公園でお降りください。」という意味の文になる。

- ④ (1)「明日何が起きるか」をwillを含む間接疑問文で表し、knowの目的語にする。(2)「明日の朝いつ起きればいいのか」なので、〈疑問詞 + to + 動詞の原形〉を含む文にする。

英作文の採点ポイント

- 単語のつづりが正しい。(2点)
- ()内の語数で書けている。(1点)
- (1)間接疑問文の語順が正しく書けている。(6点)
- (2)〈疑問詞 + to + 動詞の原形〉で正しい疑問詞を使っている。(6点)

pp.118~119

予想問題 3

出題傾向

＊〈make + 人 + 形容詞〉は語順をよく理解しておく。〈動詞 + 人 + to + 動詞の原形〉は並べ替えや英作文で出題されることが多い。〈help[let] + 人 + 動詞の原形〉は形と語順を押さえておく。2つの文を関係代名詞を使って1文にまとめる問題はよく出題される。

- ① (1)there anything I can do for you
 (2)help (3)A イ B ウ C ア
 (4)マサトがケンジの質問に答えられなかったことは、ケンジをがっかりさせました。
 (5)(a)him to carry (b)could answer
- ② (1)Climbing that mountain made Bob very tired(.) (2)Mr. Okada told the boys to paint the wall green(.) (3)want her to help me translate this report into English (4)the list of the students who will take part in the event
- ③ (1)asked them to wait (2)let me use (3)How, the novel you read
- ④ (1)He showed me the watches which were collected by him.
 (2)I know the woman that he invited to the party.

考え方

- ① (1)文頭がIsなのでIs there anything ~? という疑問文にする。残りの語句をI can do for youとしてこれをanythingの後ろに置くと、目的格の関係代名詞が省略された形の文が完成する。(2)後ろが〈人 + 動詞の原形〉のme carryとなっていて、helpを入れると〈help + 人(目的語) + 動詞の原形〉の形となり、意味の通る文となる。(3)A「あなた(先生)にいくつか質問したいのです。」というケンジの発言に続けるには、「今それらに答える時間はありますか。」というイが適切。B「ごめんなさい。答えられないわ。」というナカタ先生の発言に続けるには、「すぐに病院へ行かなければならないの。」というウが適切。C「答えられない数学の問題がいくつかあるのですが。これらの問題に答えられるだけかをご存じですか。」というケンジの質問への応答には、「それらを私に見せて。」というアが適切。(4)Thatは直前の文で述べられた「マサトがケンジの質問に答えられなかったこと」を指している。(5)(a)質問の意味は「ナカタ先生はケンジに何をするように頼みましたか。」。2段落目の2文目で、ナカタ先生が箱を運ぶのを手伝ってほしいと言っている。答えの文の意味は「彼女は彼に彼女といっしょに箱を運ぶように頼みました。」。(b)質問の意味は「ケンジはナカタ先生に何をたずねましたか。」。3段落目の4文目で、ケンジがだれが数学の問題に答えられるかたずねている。答えの文の意味は「彼は彼女にだれが数学の問題に答えられるかたずねました。」。

全訳

ケンジは中学生です。ある日、彼には数学の先生のナカタ先生にたずねたいことがありました。職員室へ向かっていたときに、彼は図書室の前で偶然彼女に会いました。

ケンジはナカタ先生に「とてもおいそがしそうですね。あなたのために私ができることはありますか。」と言いました。「ええ。あなたに私がこれらの箱をコンピューター室へ運ぶのを手伝ってほしいわ」と彼女は返答しました。

「手伝ってくれてありがとう。」と、彼らが箱を運び終わったあとにナカタ先生は言いました。「あなたにいくつか質問したいのです。今それらに答える時間はありますか。」とケンジはたずねました。「ごめんなさい。答えられないわ。」

すぐに病院へ行かなければならないの。」「答えられない数学の問題がいくつかあるのですが。これらの問題に答えられるだけかをご存じですか。」「それらを私に見せて。マサトがそれらの答え方をあなたに教えられると思うわ。」とナカタ先生は言いました。

ケンジはマサトにそれらの問題についてたずねましたが、彼は答えられませんでした。そのことはケンジがすっかりさせました。

- ② (1)「～してボブはとても疲れた」を「～することがボブをととても疲れさせた」と考え、〈make + 人(目的語) + 形容詞〉で表す。(2)「少年たちに～するように言った」は〈tell + 人(目的語) + to + 動詞の原形〉で表す。「壁を緑色に塗る」は〈paint + 目的語 + 形容詞〉で表す。(3)「彼女に～してほしい」は〈want + 人(目的語) + to + 動詞の原形〉で表す。「私が～するのを手伝う」は〈help + 人(目的語) + 動詞の原形〉で表す。(4)「その行事に参加する予定の生徒たち」を主格の関係代名詞 who を使って表す。the students を先行詞とする。
- ③ (1)「彼らに彼女を待ってくれるように頼みました」は〈ask + 人(目的語) + to + 動詞の原形〉で表す。(2)「私に～を使わせてくれた」は〈let + 人(目的語) + 動詞の原形〉で表す。動詞 let の過去形は let。(3)「～はどうでした。」と感想をたずねるときは、How was ~? の形でたずねることができる。「あなたが先週読んだ小説」は目的格の関係代名詞を使って表すことができるが、空所の数からこれを省略した形にする。the novel の直後に you read を続ける。
- ④ (1) the watches と 2 文目の they が同じものであるため the watches が動詞 were の主語なので、2 つの文を主格の関係代名詞 which でつなぐ。書きかえた文の意味は「彼は彼によって集められた腕時計を私に見せました。」となる。(2) the woman が 2 文目の目的語 her と同じ人物なので、2 つの文を目的格の関係代名詞 that でつなぐ。書きかえた文の意味は「私は彼がパーティーに招待したその女性と知り合いです。」となる。

出題傾向

* 名詞を後ろから修飾する現在分詞(ing形)と過去分詞の意味のちがいをよく理解しておく。仮定法はどんなことを表すときに使うのかをおさえておく。

- ① (1)もし世界に本がなかったら、私たちが新しいことを学ぶのが難しくなるでしょう。
 (2) a lot of books about various things
 (3) wish I were a member of Aya's family
 (4) 彼が今までにまったく見たことがないものの写真集を見ること (5) イ
- ② (1) the things sold
 (2) knew, could understand
 (3) wish we lived (4) is famous for
- ③ (1) If I were not[weren't] busy, I would go hiking. (2) I wish I could help you.
 (3) How much is the fare to the aquarium?
- ④ (1) a good cafe serving
 (2) the video taken

考え方

- ① (1) If there were ..., it would be ~. という〈If + 主語 + 動詞の過去形, 主語 + would + 動詞の原形〉の形は仮定法で、「もし…ならば、～だろうに」の意味を表す。(2) have borrowed and read の目的語となりそうなものを探すと、直前の文に a lot of books about various things という 7 語がある。(3) wish や be 動詞の過去形の were があるので、「～であればいいのに」という現実とはちがう願望を表す仮定法の〈I wish + 主語 + 動詞の過去形〉の文にする。(4) ナナの友だちであるアヤの兄のテツヤについては 3 段落目で述べられていて、5 文目に「彼は今までにまったく見たことがないものの写真集を見ることは興味深いと話しています。」とあるので、これを参考にまとめればよい。(5) ア「アヤとダイスケは彼らが読んだことがある本についてよく話します。」2 段落目の 2 文目と不一致。イ「ナナはアヤの祖父に何を読めばいいか彼女に教えてくれるように頼んだことがあります。」2 段落目の 7 文目と一致している。ウ「テツヤはナナに彼がとった写真を何枚か見せました。」とった写真を見せたかどうかについては述べられて

いない。

全訳

こんにちは、みなさん。私の名前はナナです。本を読むことは好きですか。もし世界に本がなかったら、私たちが新しいことを学ぶのが難しくなるでしょう。

アヤは私の友だちの1人です。彼女と私は、読んだことがある本についてよく話します。彼女と私の両方とも本を読むことが大好きです。彼女の家族は、さまざまなことについてのたくさん本を持っています。私はそれらの何冊かを借りて読んだことがあります。アヤのおじいさんはどんなことでもよく知っていて、私たちが今までにまったく聞いたことがない興味深い話をいつもしてくれます。なので私は、どんな本を読めばいいかときどき彼にたずねます。私は自分がアヤの家族の1人だったらなあと思います。

彼女のお兄さんのテツヤは写真を撮るのが好きです。彼と私の兄のダイスケは、親友です。彼らはよく週末に写真を撮ります。テツヤは数冊の写真集を持っています。彼は今までにまったく見たことがないものの写真集を見ることは興味深いと話しています。

本を読むことは私の生活の大きな一部分です。本は私たちの生活をよりわくわくしたものにしてくれます。本なしでは私はたった1日でも生きられないでしょう。

- ② (1)「そこで売られているもの」を〈過去分詞+語句〉が名詞を後ろから修飾する形で表す。(2)「もし…ならば、～できるのに」と現実とはちがうことを述べる場合、仮定法にして〈If+主語+動詞の過去形, 主語+could+動詞の原形〉で表す。(3)「～であればいいのに」と現実とはちがう願望を述べる場合、仮定法にして〈I wish+主語+動詞の過去形〉で表す。(4)「～で有名だ」は、be famous for ~で表す。
- ③ (1)元の文は「いそがしいので私はハイキングには行きません。」という意味。これを「もし…ならば、～するだろうに」という現実とはちがう内容に書きかえるので、仮定法にして〈If+主語+動詞の過去形, 主語+would+動詞の原形〉で表す。書きかえた文の意味は「もしいそがしくないならば、私はハイキングに行くのに。」となる。if ~で使うbe動詞は、主語が何であってもwereを使う

ことが多い。(2)元の文は「私はあなたを手伝うことができません。」という意味。これを「～できればいいのに」という現実とはちがう願望に書きかえるので、仮定法にして〈I wish+主語+could+動詞の原形〉で表す。書きかえた文の意味は「あなたを手伝うことができればいいのに。」となる。(3)元の文が「540円です。」と金額を表していて、ある場所までの運賃をたずねるときは、How much is the fare to ~?の形でたずねることができる。文の意味は「水族館への運賃はいくらですか。」となる。

- ④ (1)a good cafe「いいカフェ」が「～を出す(serves)」という関係なので、〈現在分詞(ing形)+語句〉が名詞を後ろから修飾する形を含む文にする。書きかえた文の意味は「私はおいしいデザートを出すいいカフェを知っています。」となる。(2)the video「動画」を「おぼがとった(took)」という関係で、書きかえる文がby my auntで終わり、「動画」が「とられた」という関係になるので、〈過去分詞+語句〉が名詞を後ろから修飾する形を含む文にする。書きかえた文の意味は「私はあなたにおばによってとられた動画を見せましょう。」となる。

pp.122~123

予想問題 5

出題傾向

*助動詞と受け身形が合わさった形と、現在完了形と受け身形が合わさった形の、それぞれの意味をよく理解しておく。それぞれの受け身形のbe動詞がどうなるかもおさえておく。

- ① (1)アムステルダムでは自動車よりも自転車のほうがずっと多いです。(2)riding (3)ウ (4)It has been held since (5)(a)ウ (b)イ
- ② (1)can be washed (2)that man reading (3)taught, how to write
- ③ (1)I wonder when and where she got that exciting idea. (2)It was easy for him to repair bicycles. (3)The cat has been called Tora since then.
- ④ (1)I do not[don't] agree with you. (2)I asked her to help me with my homework.

- ① (1)この文は、アムステルダムで利用される自転車について述べている2段落目の末尾にあるので、thereはアムステルダムを表している。(2)前後にeveryoneとbicyclesがあり、それらとrideは「みな(everyone)が自転車(bicycles)に乗る(ride)」という関係になると考えるのが自然。ridingにして〈現在分詞(ing形)+ 語句〉が名詞を後ろから修飾する形にすると、意味の通る文になる。(3)a lot of medals「たくさんのメダル」が目的語となるのでウが適切。主語がAthletes from ~という複数形なのでアでは不適切。(4)beenとheldという2つの過去分詞とhasがあるので、〈has been+過去分詞〉という現在完了形と受け身形が合わさった形の文にする。(5)(a)質問の意味は「オランダの人々は何をしようと決心しましたか。」。3段落目の3文目と一致しているウ「自転車に乗る人々にとって都市をより安全にすること」が正解。アは「湖にスケートをしに行くときに自転車を使うこと」、イは「オランダの自動車の数を増やすこと」。(b)質問の意味は「アイススケートのレースは何回開催されていますか。」。5段落目の5文目と一致しているイ「15回」が正解。アは「5回」、ウは「50回」。

全訳

私は昨年オランダへ行きました。旅行中にその国について学んだことをお話ししましょう。

アムステルダムはオランダの首都です。アムステルダムにはとても多くの自転車があります。人々は仕事に行くとき、通学するとき、買い物に行くときなどに自転車を使います。そこでは自動車よりも自転車のほうがずっと多いです。

第二次世界大戦後、オランダでは自動車の数が増え続け、自転車の利用は減りました。1971年には、400人以上の子どもたちが自動車事故で死にました。人々は、自転車に乗るみんなにとって道路をより安全にすることを決心し、彼らの願いは実現しました。

オランダの人々はアイススケートが大好きです。オランダ出身の選手は、冬季オリンピックのスピードスケートでたくさんのメダルを勝ち取っています。

オランダにはとても有名なアイススケートのレースがあります。それは1909年から開催されています。そのレースでは参加者は、凍った運河、川や湖をすべります。それは、人がその

上をすべれるくらいに氷が厚くなったときに開催されます。それは今までにたった15回しか開催されていません。最後のレースは1997年に開催されました。

- ② (1)「水で洗える」を「水で洗われることができる」と考え、助動詞と受け身形が合わさった形の〈can be+過去分詞〉で表す。(2)「あそこで新聞を読んでいるあの男性」を〈現在分詞(ing形)+ 語句〉が名詞を後ろから修飾する形で表す。(3)「英語での手紙の書き方」を〈how to+動詞の原形〉で表し、〈teach+A(目的語)+B(目的語)〉のBにする。
- ③ (1)疑問詞で始まる疑問文を間接疑問文にしてwonderの目的語にする。did she getをshe gotという肯定文と同じ語順にする。書きかえた文の意味は「いつどこで彼女はそのわくわくするアイデアを得たのだろうかと思います。」となる。(2)Itが主語となる「Aが…することは～だった。」という意味の文にする。〈It is ~ for A to+動詞の原形...〉のisを過去形のwasにする。書きかえた文の意味は「彼が自転車を修理するのは簡単でした。」となる。(3)ふつうの受け身の文を、現在完了形と受け身形が合わさった形にする。書きかえた文の意味は「それ以来、そのネコはずっとトラと呼ばれています。」となる。
- ④ (1)ディスカッションで相手の意見に反対して、「私はあなたに賛成ではありません。」と言うときは、agree with ~「～(人)に賛成する」を使った否定文で表すことができる。(2)「彼女に～するように頼んだ」なので、〈ask+人(目的語)+to+動詞の原形〉の過去形の文にする。

英作文の採点ポイント

- 単語のつづりが正しい。(2点)
- (1)「あなたに賛成です」を正しく表せている。(7点) (2)〈ask+人(目的語)+to+動詞の原形〉が正しく使えている。(7点)

リスニングテスト

〈解答〉

① 現在完了形(経験用法・完了用法)

① (1)ウ (2)ア (3)イ

ココを聞きトレ② 現在完了形の経験用法と完了用法の意味のちがいに十分注意しよう。

英文 (1) Diane has been to India twice, but David has never been there. He went to Brazil when he was twelve. Bob wants to go to Mexico and Japan.

Q: What country has David been to?

(2) Miki saw the movie last week, and she's going to see it again tomorrow. Jane has never seen it, but Kate has seen it three times.

Q: How many times has Miki seen the movie?

(3) Ken wants to have lunch. Mike has already had lunch, but John has not had lunch yet. So Ken will have lunch with John.

Q: Who has had lunch?

日本語訳 (1) ダイアンは2回インドに行ったことがあります。デイビッドは1回もそこへ行ったことはありません。彼は12歳のときにブラジルへ行きました。ボブはメキシコと日本へ行きたいと思っています。

質問: デイビッドはどの国へ行ったことがありますか。

(2) ミキは先週その映画を見て、明日もう一度それを見るつもりです。ジェーンはそれを見たことはありませんが、ケイトは3回見たことがあります。

質問: ミキはその映画を何回見たことがありますか。

(3) ケンは昼食を食べたいと思っています。マイクはすでに昼食を食べてしまいましたが、ジョンはまだ昼食を食べていません。そこでケンはジョンと昼食を食べるつもりです。

質問: だれが昼食を食べましたか。

② (1) twenty (2) No, hasn't
(3) station (4) Next Sunday

ココを聞きトレ② 現在完了形の完了用法と経験用法でよく使われる語に注意して聞き取ろう。alreadyは完了用法と、everやneverは経験用法といっしょによく使われることに注意。

英文 Ryo: R, Kate: K

R: Hi, Kate. I hear you like Japanese comic books.

K: Yes, Ryo. I've already read twenty Japanese comic books.

R: Great. Have you ever been to City Library? It has a lot of comic books.

K: Really? I've never been there. Where is it?

R: It's near the station. Why don't you go there with me next Sunday?

K: That's a good idea. I'm excited.

Q: (1) How many Japanese comic books has Kate read?

(2) Has Kate ever visited City Library?

(3) Where is City Library?

(4) When are Ryo and Kate going to visit the library?

日本語訳

R: やあ、ケイト。きみは日本のマンガが好きだと聞いたよ。

K: ええ、リョウ。私はすでに20冊の日本のマンガを読んだわ。

R: すごいね。きみは市立図書館に行ったことはある? たくさんマンガがあるよ。

K: ほんと? 私はそこには行ったことがないわ。どこにあるの?

R: 駅の近くだよ。次の日曜日にぼくといっしょに行くのはどう?

K: いい考えね。わくわくするわ。

質問(1) ケイトは日本のマンガを何冊読みましたか。

(2) ケイトは市立図書館を訪れたことがありますか。

(3) 市立図書館はどこにありますか。

(4) リョウとケイトはいつ図書館を訪れる予定ですか。

② 現在完了形(継続用法) / 現在完了進行形

① (1)エ (2)ウ (3)イ

ココを聞きトレ② 現在完了形の継続用法と現在完了進行形を注意して聞き取ろう。期間をどのように表しているのかを聞き取るのも重要なポイント。

英文 (1) Tom lived near the lake before his family moved to a new house two years ago. It is near a park. He still lives there now.

Q: Where has Tom lived since two years ago?

(2) Emma arrived in Japan on July 2. She visited me on July 7. Today is July 12. She will leave Japan on July 22.

Q: How long has Emma been in Japan?

(3) Meg is fifteen years old. She started playing the piano when she was five. She practices two hours a day. She has been on the tennis team for two years.

Q: What has Meg been playing for ten years?

日本語訳 (1) トムは家族が2年前に新しい家に引っ越す前、湖の近くに住んでいました。それは公園の近くです。彼は今もそこに住んでいます。

質問: トムは2年前からずっとどこに住んでいますか。

(2) エマは7月2日に日本に着きました。彼女は7月7日に私を訪れました。今日は7月12日です。彼女は7月22日に日本を去る予定です。

質問: エマはどのくらいの間日本にいますか。

(3) メグは15歳です。彼女は5歳のときにピアノをひき始めました。彼女は1日に2時間練習します。彼女はテニス部に2年間所属しています。

質問: メグは10年間ずっと何をしていますか。

- 2** (1) 3年間 (2) 働きたい (3) 外国に住むこと
(4) 異文化を理解すること

ココを聞きたれ ⑧ 現在完了形の継続用法と現在完了進行形の意味を正しく聞き取ろう。現在完了形の継続用法はある状態が続いていることを、現在完了進行形はある動作が続いていることを表す。

英文

Hi, Everyone. My name is Mike. I'm interested in Japanese culture. I've been studying Japanese for three years. Actually, it's a little difficult for me to learn Japanese, but I like learning new things. I want to work in Japan in the future.

My aunt lives in Thailand. She has lived there for about five years. She lived in India before she went to Thailand. She likes working with people from other countries.

She says living in foreign countries teaches us a lot of things. I think it's very important to understand different cultures.

日本語訳

こんにちは、みなさん。私の名前はマイクです。私は日本の文化に興味があります。私は3年間ずっと日本語を勉強しています。実は、私には日本語を学ぶことは少し難しいですが、新しいことを学ぶのは好きです。私は将来、日本で働きたいです。

私のおばはタイに住んでいます。彼女は約5年間そこに住んでいます。彼女はタイに行く前はインドに住んでいました。彼女は他国出身の人々と働くのが好きです。彼女は外国に住むことは多くのことを私たちに教えてくれると言っています。私は異文化を理解することはとても重要だと思います。

③ SVOO (that 節)

1 工

ココを聞きたれ ⑨ 2つの目的語がある文の2つ目の目的語がthat節になる場合があることに注意しよう。showはこの形でよく使われる動詞の1つ。

英文 Steve : S, Beth : B

S : Did you see Kate yesterday, Beth?

B : Yes. I played tennis with her. She talked about your brother. Is he on the baseball team, Steve?

S : Yes. He is a very good player.

B : Do you play baseball, too?

S : No. I'm on the basketball team.

B : Really? That team has a lot of good players.

S : That's right. I want to be a starter, so I have to show the coach that I can play very well.

Q : What does Steve have to show the coach?

日本語訳

S : 昨日ケイトに会ったの、ベス?

B : ええ。彼女とテニスをしたよ。彼女があなたのお兄さんのことを話してたよ。彼は野球部に所属しているの、スティーブ?

S : うん。彼はとてもうまい選手だよ。

B : あなたも野球をするの?

S : いや。ぼくはバスケットボール部に所属してるよ。

B: 本当? チームにはいい選手がたくさんいる
でしょ。
S: そのとおり。先発メンバーになりたいから、
コーチにとてもうまくプレーできることを見
せなきゃいけないんだ。
質問: スティーブはコーチに何を見せなければい
けませんか。

- 2 (1) four months ago (2) do their best
(3) performed very well

ココを聞きトレ that 節が動詞の目的語になる場合、
that はふつう弱く発音されることに注意。また、
省略される場合もあることも頭に入れておく。

英文

Yumi is in her school's brass band. It held a concert four months ago. The performance wasn't very good. Yumi's music teacher is Ms. Tanaka. She told the members of the band that they should do their best to make their performance better. Her words made them strong and positive.

Yumi and the other members practiced very hard to prepare for the next concert. It was held last Sunday. They performed very well this time. Everyone was smiling at the end of the concert. It was a very exciting experience for Yumi.

- Q: (1) When was the first concert held?
(2) What did Ms. Tanaka want the members of the brass band to do?
(3) Why was everyone smiling at the end of the second concert?

日本語訳

ユミは学校のブラスバンド部に所属しています。4か月前にコンサートを開きました。その演奏はあまりよくなかったのです。ユミの音楽の先生はタナカ先生です。彼女は部員に、演奏をよりよくするために最善を尽くすべきだと言いました。彼女の言葉は彼らを強く、積極的にしました。

ユミと他の部員は、次のコンサートに備えるためにとても熱心に練習しました。それはこの前の日曜日に開かれました。今回、彼らはとてもうまく演奏しました。コンサートの最後では、みんなほほえんでいました。それはユミにとって、とても興奮した経験でした。

質問(1) 1回目のコンサートはいつ開かれましたか。

- (2) タナカ先生はブラスバンド部員にどうして
もらいたかったのですか。
(3) 2回目のコンサートの最後で、みんながほ
ほえんでいたのはなぜですか。

④ 不定詞を含む表現

- 1 (1) × (2) ○ (3) ○

ココを聞きトレ 不定詞を含む表現を正しく聞き取る
ろう。(It is ... for + 人 + to ~.) の文では、it に
「それ」という意味はなく、to からあとの「~する
こと」が主語になるので注意。

英文 (1) Emma was very busy, so she asked
Mike to help her clean the kitchen.

(2) It is difficult for Jun's mother to make
dinner this evening. She wants Jun to
make dinner.

(3) It is easy for Kana to study English and
Japanese. It is necessary for her to
study math harder.

日本語訳 (1) エマはとてもいそがしかったので、
マイクに彼女が台所を掃除するのを手伝ってく
れるように頼みました。

(2) ジュンのお母さんにとって今晚、夕食を作るこ
とは難しいです。彼女はジュンに夕食を作って
ほしいと思っています。

(3) カナにとって英語と国語を勉強することは簡単
です。彼女は数学をもっと一生懸命、勉強する
必要があります。

- 2 (1) ウ (2) エ

ココを聞きトレ 男性の指示内容から、病院の位置
とケイトの次の行動を推測しよう。不定詞を含む
表現や位置を表す表現を正しく聞き取ること。

英文 *Kate* : K, *Man* : M

K : Excuse me. Could you tell me how to
get to the hospital?

M : Sure. You can walk, but it's easier for
you to take a bus.

K : I see. Do you know where to take the
bus?

M : Yes. There's a bus stop at the next
corner. Take the bus which goes to the
station.

K : OK. How many stops from here?

M : Get off at the fifth stop. Shall I help
you carry your bag to the bus stop?

K : Oh, thank you very much. You're so kind.

Q : (1) Where is the hospital?

(2) What will Kate do next?

日本語訳

K : すみません。病院への行き方を教えてもらえますか。

M : もちろん。歩くこともできますが、バスに乗るほうがあなたには簡単です。

K : わかりました。どこでバスに乗ればよいかわかりますか。

M : はい。次の角にバス停があります。駅に行くバスに乗ってください。

K : わかりました。ここからいくつ目のバス停ですか。

M : 5つ目のバス停で降りてください。バス停まであなたのかばんを運ぶのを手伝いましょうか。

K : まあ、どうもありがとうございます。ご親切ですね。

質問(1) 病院はどこにありますか。

(2) ケイトは次に何をしますか。

⑤ 分詞

① ケン：ア エミ：オ ユウタ：ウ アヤ：カ

ココを聞きトレ② 名詞の後ろにある動詞のing形で始まる語句は、その名詞について説明している。人名に注意して、その人物が何をしている人なのかを正しく聞き取ろう。

英文

There are some people in this picture. The boy riding a bike is Jun. Aya is the girl running with a dog. The girls singing a song are Emi and Rika. Rika is also playing the guitar. The boys eating lunch under the tree are Shinji and Yuta. Yuta is wearing a cap. Ken is the boy taking pictures of birds.

日本語訳

この絵には何人かの人があります。自転車に乗っている男の子はジュンです。アヤはイヌと走っている女の子です。歌を歌っている女の子たちはエミとリカです。リカはまたギターをひいています。木の下で昼食を食べている男の子たちはシンジとユウタです。ユウタは帽子をかぶっています。ケン は鳥の写真をとっている男の子です。

② (1)イ (2)工

ココを聞きトレ② 名詞の後ろに続く説明の語句に注意。現在分詞や過去分詞、前置詞などがつくる句が名詞を説明している。登場人物が多いので、だれが何をしたかを整理しながら聞こう。

英文

Hi, everyone. I'm Takashi. Yesterday was my birthday. My family and friends had a party for me. My father gave me a watch made in Japan. It looked very nice. Mike gave me a book written in English. I think I can read it if I use a good dictionary. My brother gave me a CD of my favorite singer. Koji played the guitar and Yuki sang some songs. We ate the cake made by my mother. It was delicious. These are the pictures taken by Kana at the party. Everyone had a good time. Thank you.

Q : (1) What did Takashi get from Mike?

(2) What did Kana do for Takashi at the party?

日本語訳

こんにちは、みなさん。ぼくはタカシです。昨日はぼくの誕生日でした。家族と友だちがぼくのためにパーティーを開いてくれました。父はぼくに日本製の時計をくれました。それはとてもすてきに見えました。マイクはぼくに英語で書かれた本をくれました。よい辞書を使えば、ぼくはそれが読めると思います。兄はぼくの大好きな歌手のCDをぼくにくれました。コウジはギターをひき、ユキは何曲か歌を歌ってくれました。ぼくたちは母の作ってくれたケーキを食べました。それはおいしかったです。これらはパーティーでカナがとってくれた写真です。みんな楽しい時を過ごしました。ありがとうございます。

質問(1) タカシはマイクから何をもらいましたか。

(2) カナはパーティーでタカシのために何をしましたか。

⑥ 関係代名詞

① (1)イ (2)キ (3)オ (4)工

ココを聞きトレ② 名詞の後ろにある who, which, that で始まる語句は、その名詞について説明している。説明されている名詞がどんな人や動物なのかを正しく聞き取ろう。

- 英文** (1) This is a person who works in a hospital and takes care of sick people.
 (2) This is an animal which we can see in Australia. It jumps very well.
 (3) This person is someone who cooks food as a job at a restaurant.
 (4) This is the largest animal that lives in the sea. It looks like a fish.

- 日本語訳** (1) これは病院で働き、病気の人々の世話をする人です。
 (2) これはオーストラリアで見ることができる動物です。それはとても上手に跳びます。
 (3) この人は、レストランで仕事として食べ物を料理するだけかです。
 (4) これは海に住む最も大きい動物です。それは魚のように見えます。

2 (1)教師 (2)8 (3)4 (4)医師

ココを聞きトレ⑤ 職業の名前と、その職業につきたい生徒の人数を正しく聞き取ろう。whoで始まる語句が、直前にある名詞について説明していることに注意。

英文 **Kumi** : K, **Mike** : M
 K : Mike, we talked about our future jobs in class last week, right?
 M : Yes, Kumi. Thirteen students want to be sports players. There are eight students who want to be baseball players.
 K : Right. And there are five students who want to be soccer players.
 M : Yes. There are four students who want to be musicians and there are three students who want to be doctors.
 K : Well, I'm one of them. The most popular job is teacher. Nine students want to be teachers. And six answered other jobs.
 M : That's right. I hope everyone's dream will come true!

日本語訳
 K : マイク、私たちは先週、授業で将来の職業について話したわね。
 M : うん、クミ。13人の生徒がスポーツ選手になりたがっているよ。野球選手になりたい生徒が8人いる。

K : そうね。そしてサッカー選手になりたい生徒が5人いるわね。
 M : うん。ミュージシャンになりたい生徒は4人、医師になりたい生徒は3人いるね。
 K : ええと、私もその1人よ。最も人気のある職業は教師ね。9人の生徒が教師になりたいと思っているわ。そして6人はほかの職業を答えたわね。
 M : そのとおり。みんなの夢が実現するといいな!

⑦ 仮定法

1 イ

ココを聞きトレ⑤ 仮定法の文では、現在の状況と異なる想定を述べるのに過去形を使うことに注意。主語が何であってもbe動詞は原則的にwereとなる。

英文 **Bob** : B, **Meg** : M
 B : Hi, Meg. Where are you going?
 M : I'm going to the museum. How about you, Bob?
 B : I'm on my way home from the post office.
 M : The weather hasn't been very good since yesterday.
 B : I don't like rainy days. If it were hot and sunny today, I would go swimming in the sea.
 M : I like rainy days. I like taking pictures of flowers in the rain.
 Q : What does Bob want to do?

日本語訳
 B : やあ、メグ。どこへ行くの?
 M : 美術館へ行くところよ。あなたはどうか、ボブ?
 B : 郵便局から家に帰るところだよ。
 M : 昨日からずっと天気あまりよくないね。
 B : 雨の日は好きじゃないよ。今日晴れて暑かったら、海へ泳ぎに行くのに。
 M : 私は雨の日が好きよ。雨の中の花の写真をとるのが好きなの。
 質問 : ボブは何がしたいと思っていますか。

2 イ、オ

ココを聞きトレ⑤ I wish ~の形の仮定法の意味を正しく聞き取ろう。現実とは異なる願望を表すときに、wishの後ろでは動詞・助動詞が過去形にな

ることに注意。

英文 *Mary : M, Josh : J*

M : Hi, Josh. I went to your sister's concert last Saturday. It was amazing.

J : Really? She'll be happy to hear that, Mary.

M : She is definitely a great singer. I like her sweet voice. I wish I could sing like her.

J : She plays the piano, too. She really loves music.

M : Do you like music, too?

J : Actually, I don't. I'm not good at singing. I like going camping in the mountains.

M : Oh, I didn't know that. My father sometimes climbs mountains on weekends. He likes watching birds. How about you?

J : I like watching the stars better.

日本語訳

M : こんにちは、ジョシュ。この前の土曜日にあなたのお姉さんのコンサートに行ったよ。すばらしかったわ。

J : 本当? それを聞いたら彼女は喜ぶよ、メアリー。

M : 彼女は絶対にすばらしい歌手よ。彼女の甘い声が好き。私も彼女のように歌えたらいいのに。

J : 彼女はピアノもひくよ。彼女は本当に音楽が大好きなんだ。

M : あなたも音楽が好き?

J : 実はそうじゃないんだ。歌うのが得意じゃないし。ぼくは山へキャンプをしに行くのが好きなんだ。

M : あら、それは知らなかった。父がときどき週末に山に登るよ。彼はバードウォッチングが好きなの。あなたはどうか?

J : ぼくは星を見るほうが好きだよ。

⑧ その他の文

① (1)イ (2)ア (3)エ

ココを聞きトレ⑥ 会話の最後の文をよく聞いて、次にくる応答を推測しよう。whoやwhat time, whatのような疑問詞は、何が話題になっているかを特定するための重要なヒントになるので、注意して聞き取ろう。

英文 *Man : M, Woman : W*

(1)M : Miki, your brother is over there.

W : Oh, you're right. He's talking with a girl. Do you know who she is?

M : ()

(2)W : I hear this movie is very good. I want to see it tonight.

M : Me, too. But I don't know what time it will start.

W : ()

(3)M : Hi, Becky. This is my cat. I got it from my aunt yesterday.

W : Oh, it's very cute. What do you call it?

M : ()

日本語訳

(1)M : ミキ、あそこにきみの弟がいるよ。

W : あら、ほんとね。女の子と話しているわ。あなたは彼女がだれか知ってる?

(2)W : この映画はとてもいいと聞くわ。今晚それを見たいんだけど。

M : ぼくもさ。でも、何時に始まるか知らないんだ。

(3)M : やあ、ベッキー。これはぼくのネコだよ。昨日おばからもらったんだ。

W : まあ、とてもかわいいわね。何と呼ぶの?

② ア, オ

ココを聞きトレ⑥ 電話の表現, Can I ~?のような申し出, Can you ~?のような依頼の表現に注意。2人の電話のやりとりから、状況や依頼の内容を正しく聞き取ろう。

英文 *Rika : R, Tom's mother : M*

R : Hello. This is Rika. May I speak to Tom, please?

M : Hello, Rika. This is his mother. I'm afraid he's out but I don't know where he is. Can I take a message?

R : Yes, please. I want to know what he wants for his birthday. Can you ask him to call me back?

M : All right. I'll tell him to call you, but I'm sure any present will make him happy, Rika.

R : Oh, I hope so. Thank you very much.

日本語訳

R : もしもし。リカです。トムをお願いします。

M: こんにちは, リカ。彼の母です。彼は外出していると思うけれど, どこにいるかわからないの。伝言を伝えましょうか。

R: ええ, お願いします。私は誕生日に彼は何かほしいか知りたいんです。私に電話をかけ直すように, 彼に頼んでもらえますか。

M: わかりました。彼にあなたに電話をするように言うわね。でもきっと, 彼はどんなプレゼントでも喜ぶと思うわ, リカ。

R: まあ, そうだといいいのですが。どうもありがとうございます。

⑨ 3年間の総復習①

① (1)工 (2)ウ (3)ウ

ココを聞きトレ⑨ 質問への答えの選択肢から, それがどんな質問か予測しよう。そしてそれを頭にに入れて英文を聞こう。

英文 (1) David was talking with Meg on the phone when George arrived at the station. They talked about Lucy and Patty on the train.

Q: Who was David talking with on the phone?

(2) Jack is a member of a volleyball team. He is going to meet Jane to ask her to write a song for the team.

Q: What does Jack want Jane to do?

(3) I have three dogs. They are Sora, Gonta and Kurumi. Sora is bigger than Kurumi. Gonta is the biggest of the three. My uncle's dog is Hana. Kurumi is bigger than Hana.

Q: Which is the smallest dog of the four?

日本語訳 (1) ジョージが駅に着いたとき, デイビッドはメグと電話で話していました。彼らは電車の中で, ルーシーとパティエーについて話しました。

質問: デイビッドは電話でだれと話していましたか。

(2) ジャックはバレーボールのチームの一員です。彼はチームのために歌を書いてくれるように頼むために, ジェーンと合うつもりです。

質問: ジャックはジェーンに何をしてほしいのですか。

(3) 私はイヌを3匹飼っています。彼らはソラ, ゴンタとクルミです。ソラはクルミより大きいで

す。ゴンタは3匹の中で最も大きいです。おじのイヌはハナです。クルミはハナより大きいです。

質問: 4匹の中で最も小さいイヌはどれですか。

② (1)有名な歌手 (2)40年前 (3)動物園 (4)大好きな

ココを聞きトレ⑩ まとめの文の空所にどのような情報が入るか予測しながら, 英文を聞こう。まとめの日本語は英文の直訳ではなく, 要約になっているので, 英文の中からポイントを正しくつかむようにしよう。

英文 Brian: B, Susie: S

B: Have you ever read this book, Susie?

S: No. Is it interesting, Brian?

B: Yes. I really like it. It was written by a famous singer.

S: Can I borrow it?

B: Sure.

S: Thanks. Anyway, look at this photo. My grandfather took it forty years ago.

B: Do you know where he took it?

S: At the City Zoo.

B: Is the boy holding a banana your father?

S: You're right. Bananas have been his favorite food since he was a little child.

日本語訳

B: この本を読んだことある, スージー?

S: いいえ。それはおもしろいの, ブライアン?

B: うん。本当に気に入ってるよ。それは有名な歌手によって書かれたんだよ。

S: それを借りてもいい?

B: もちろん。

S: ありがとう。ところで, この写真を見て。祖父が40年前にこれをとったの。

B: 彼がそれをどこでとったか知ってる?

S: 市立動物園でだよ。

B: バナナをにぎっている男の子は, きみのお父さんかい?

S: そのとおり。バナナは小さい子どものときから彼が大好きな食べ物よ。

⑩ 3年間の総復習②

① 工

ココを聞きトレ⑪ ケンと母の2人の行動とそれをす

る時間の聞き取りがポイント。2人がいつ、どんな行動をするかに注意しながら、ケンの行動とその時間を正しく表しているものを選ぼう。

英文 Ken's mother : M, Ken : K

M : Ken, what time will you leave hometomorrow morning?

K : At six thirty.

M : Oh, you have to get up very early. Do you have any homework to do today?

K : Yes. I'm going to finish it by seven.

M : Is there anything that you want me to do?

K : Can you make me some sandwiches? I'll eat them before I leave tomorrow.

M : Sure.

日本語訳

M : ケン、明日の朝は何時に家を出るの？

K : 6時30分だよ。

M : まあ、あなたはとても早く起きなきゃいけないわね。今日やる宿題はあるの？

K : うん。7時までには終わらせる予定だよ。

M : 私にしてほしいことはある？

K : ぼくにサンドイッチを作って。明日出発する前にそれを食べるつもりだよ。

M : わかったわ。

- 2 (1)feels great (2)goes skiing
(3)Since, was

ココを聞きトレ ④ 質問に対する応答文を見て、ヒントになりそうな語句を探そう。そしてそれらに注意しながら英文を聞き取ろう。

英文

Hello, Everyone. I'm Sarah. I'm going to talk about myself and my family. What is your favorite thing to do? Mine is riding a bicycle. It really makes me happy. It makes my body stronger, too. I feel great when I ride a bicycle.

My father is a fire fighter and my mother is a nurse. They work for people who need help. My father often goes skiing in winter. My mother likes watching movies.

My brother is a university student. He studies computer science. He has been interested in computers since he was in elementary school.

- Q : (1)How does Sarah feel when she rides a bicycle?
(2)What does Sarah's father often do in winter?
(3)How long has Sarah's brother been interested in computers?

日本語訳

こんにちは、みなさん。私はサラです。私自身と家族について話します。みなさんはどんなことをするのが好きですか。私の好きなことは自転車に乗ることです。それは私をととても楽しい気持ちにさせます。それは私の体をより強くもします。自転車に乗ると、とてもいい気分になります。

父は消防士で、母は看護師です。彼らは助けが必要な人々のために働いています。父はよく冬にスキーに行きます。母は映画を見るのが好きです。

兄は大学生です。彼はコンピュータ科学を学んでいます。彼は小学生のころから、ずっとコンピュータに興味を持っています。

質問(1)自転車に乗っているときに、サラはどう感じますか。

(2)サラの父は冬によく何をしますか。

(3)サラの兄はどのくらいの間、コンピュータに興味を持っていますか。

英作文にチャレンジ！

〈解答〉

- 1 This graph shows the number of dogs and cats kept as pets in Japan. According to the graph, the number of dogs was larger than that of cats in 2015. The number of dogs has been decreasing for the last several years and has been smaller than that of cats since 2017.

英作力UP ↑

まず、何についてのグラフかについて説明する文から始め、そこから読み取れることを具体的に説明していく。2つのものの数値の推移を表すグラフなので、比較級や現在完了形の継続用法、現在完了進行形などを使って表せばよい。

- 2 In Japan, May 5 is a national holiday known as Children's Day. People pray for their children's good health. Kashiwamochi is one of the traditional foods eaten on

this day. It is wrapped with the leaf of a tree called kashiwa in Japanese.

英作力 UP↑ まず、「こどもの日」の基本的な情報を伝える文から始める。そして2文目以降に、この日の意味や習慣などを説明する文を続ける。

- ③ (1) I am looking forward to walking in the beautiful mountains with you. (2) I want you to show me around the places you like. (3) Could you tell me what your parents like to do?

英作力 UP↑ (1)「楽しみにしていること」は、例えばlook forward to ~を使って表すことができる。~に動詞がくる場合はing形にする。このほかにもIt is exciting for me to ~などの表現も使える。(2)「相手にしてもらいたいこと」は、〈want + 人 + to + 動詞の原形〉を使って表せる。(3)「相手の家族のこと」は、間接疑問文などを使って表せばよい。「~してほしい」と頼む場合は、Could you ~?の形で表すことができる。

- ④ I do not think that junior high school students should read newspapers every day. I have two reasons. First, newspapers are less useful than the Internet. We can easily get the latest information from the Internet. Second, we can read the news without paying for it on the Internet. That helps us save money. I do not think that it is necessary to read newspapers every day.

英作力 UP↑ まず、賛成か反対のどちらの立場をとるかを表す文から始める。理由を含めるという条件があるので、2文目からは理由について述べてゆけばよい。60語程度という語数制限に合うように、理由の数を1つにするか2つ以上にするか決める。最後に、論題に対する自分の考えを述べる。

- ⑤ This map shows where you should go in an emergency. You should walk to the shelters instead of using cars. You should not go to Sakura Junior High School if a large fire happens. You should not go to Midori Stadium in case of heavy rain.

英作力 UP↑ まず、地図が何を伝えているかを説明する文から始める。これに続けて、注意書きが表す内容をまとめる。日本語の表現をそのまま英語にするのが難しいと感じたら、自分の力で表せそうな表現に置きかえてから英文にすればよい。

- ⑥ If I could sing like my favorite singer, I would lead my own band. I want to write songs which make a lot of people happy. I wish people around the world would love my songs.

英作力 UP↑ まず質問への返答として、「~ならば...するだろう」というIf ~, I would ...の形の仮定法の文を作る。そして、2文目と3文目のどちらかがI wish ~の仮定法の文となるように、全体を構成する。

